

**平成21年度  
宮崎市地域コミュニティ活動交付金活用事業  
評価報告書**

平成22年9月

宮崎市地域コミュニティ税評価委員会

## 目 次

1	はじめに	P . 1
2	評価の概要	P . 1
3	事業別・地域別評価	
( 1 )	中央東地域自治区	P . 2
( 2 )	中央西地域自治区	P . 6
( 3 )	小戸地域自治区	P . 10
( 4 )	大宮、東大宮地域自治区	P . 13
( 5 )	大淀地域自治区	P . 17
( 6 )	大塚地域自治区	P . 22
( 7 )	檉地域自治区	P . 25
( 8 )	大塚台・生目台地域自治区	P . 31
( 9 )	小松台地域自治区	P . 37
( 10 )	赤江地域自治区	P . 40
( 11 )	木花地域自治区	P . 43
( 12 )	青島地域自治区	P . 47
( 13 )	住吉地域自治区	P . 50
( 14 )	生目地域自治区	P . 54
( 15 )	北地域自治区	P . 58
( 16 )	佐土原町合併特例区	
	佐土原小学校区	P . 61
	那珂小学校区	P . 64
	広瀬小学校区	P . 67
	広瀬北小学校区	P . 71
	広瀬西小学校区	P . 74
( 17 )	田野町合併特例区	P . 77
( 18 )	高岡町合併特例区	P . 80
4	総評	P . 82
5	参考資料	P . 84

## 1 はじめに

平成21年度から地域コミュニティ活動交付金が導入され、地域自治区・合併特例区単位で取り組む新しいまちづくりが始まった。

宮崎市内の16の地域自治区と清武町を除く3つの合併特例区において、各地域協議会・合併特例区協議会のもと、活動の実践組織である地域まちづくり推進委員会が、それぞれの地域課題を解決するために255の事業を展開した。平成22年3月現在、地域まちづくり推進委員会には、1,600名を超える地域住民が参画している。

本報告書は、地域コミュニティ税評価委員会が地域コミュニティ活動交付金の使途を明らかにし、透明性を図るために各地域の取り組み・事業についての評価をまとめたものである。

## 2 評価の概要

### (1) 評価項目

#### ア 事業別評価

全事業を対象に個別評価を行った。

#### (ア) 監査機能としての評価

適正な交付金の執行がなされているかを評価した。

#### (イ) まちづくり推進としての評価

地域の活性化につながる事業かどうかを評価した。

#### イ 地域別評価

地域全体のまちづくりに対する総合評価を行った。

#### ウ 総評

市全体のまちづくりに対する総合評価を行った。

### (2) 評価方法

#### ア 書類審査

各地域から提出された実績報告書の書類審査

#### イ 実地調査

評価委員会委員による事業の実地調査

#### ウ ヒアリング

評価委員会委員による各地域まちづくり推進委員会に対する聞き取り調査

### 3 事業別・地域別評価

#### (1) 中央東地域自治区(中央東まちづくり推進委員会)

##### まちづくりの活動方針(テーマ)

人づくり心づくりで、すげえまち中央東を次の世代へ贈ろう

##### ア 事業別評価

###### (ア) 防犯・防災に係る事業

###### 生活安全ガイドブック作成調査研究事業

事業概要	地震や台風時の災害に備えた「生活安全ガイドブック・マップ」作成のための調査研究を行う。 地震や台風災害時の避難場所や病院、スーパーマーケットなどを地図上に明記した地域の「ガイドブック・マップ」を作成するための調査研究。 ガイドブックは平成22年度作成予定。
事業費	14,586円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会・消防団・地区社協等と連携して実施できている。 ・住民の防災意識の向上並びに災害時の避難所への認識が高まるようなガイドブックを作成してほしい。

###### 防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	881,400円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

###### (イ) 地域福祉に係る事業

###### 中央東健康づくり事業

事業概要	子どもから大人までを対象に地域住民が交流できる場として、健康維持のための健康づくり教室を開催。幅広い年代の住民と一緒に健康づくりをすることで、健康維持とともに近年、希薄になった地域内での世代間交流や住民同士の支えあいに結び付ける。 健康づくり教室の実施(血圧測定、健康体操・道具を使ったストレッチなど、アンケート調査、健康グッズ配布)
事業費	60,379円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域包括支援センターや医療機関の協力を得て効果的に実施できている。 ・若い世代の参加を促すため、今後はPR方法を工夫してほしい。

### 中央東げんきづくり事業

事業概要	地域で支えを必要とする、一人暮らしの高齢者や高齢夫婦のみの世帯、家庭での介護世帯などを対象に、ふれあい会食会を開催する。また、インストラクターによる健康体操や健康チェック等を行い、高齢者同士あるいは地域住民との交流を図るだけでなく、中央東地域のげんきづくりを進める。 ふれあい会食会の開催（健康チェック、健康体操、ためになる話、歌、会食会など）
事業費	181,655円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・民生児童委員、福祉協力員、自治会長、地域包括支援センターなどの協力を得て実施できている。 ・高齢者同士の交流のきっかけづくりとともに高齢者世帯の把握もでき、また、高齢者の健康状態などの現況を知るための効果的な事業である。

### (ウ) 環境に係る事業

#### 生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業

事業概要	地域住民を対象にダンボールコンポスト製作講習会等を開催することで、環境に対する住民の意識の醸成を図る。また、実践後の課題の解決法などを学ぶためのフォロー講座も開催する。ダンボールコンポストを地域内の住民に普及させることで、可燃ごみの減量等につながる。 講習会、講座の開催
事業費	203,425円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・ダンボールコンポストが地域内に普及することで、各家庭のみならず、地域内のごみ減量につながる事業である。 ・地球温暖化が進む中、地域住民のエコ意識を高める点で良い事業である。

#### フリーマーケット事業

事業概要	家庭で眠っている不要品や衣類などを持ち寄り、必要とする人に販売することで、資源を大切に活用するという市民意識の醸成と環境づくりに結び付ける。
事業費	129,406円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・家庭にある不要品をごみで出すのではなく有効活用することで、エコへの意識向上につながる事業である。 ・狙いであった住民交流の場には必ずしもならなかったようだが、今回は経験のある中央西からノウハウを学ぶことが主眼であったようであり、今後に期待したい。

#### エコ講演会

事業概要	環境問題や資源活用など、日常の生活の中からエコについて考え、取り組んでいくきっかけとするための講演会を開催する。 講演会の開催
事業費	97,540円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民のエコ意識を高める上で、意義のある事業である。 ・参加者が予定より少なかったようであるため、今後は周知方法等を工夫してほしい。

## (エ) 地域再生に係る事業

### みやざき市民の心と心をつなぐ事業

事業概要	誰もが親しみやすい日本文化である俳句を通して、住民同士の交流を図るとともに、住民が中央東地域の魅力を再発見し、自分の住むまちに愛着の持てる地域づくりを推進する。 みやざき市民俳句交流大会2009の開催 みやざき現代俳句の集いの開催 俳句集の作成
事業費	542,879円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の文化面の発展や子どもたちの意識高揚につながっている。 ・地域住民、特に小中学校の児童生徒にとっては、俳句に親しむ良い機会となっている。

### ものづくりで育む地域交流事業

事業概要	子どもたちを対象に「ものづくり教室」を開催し、普段ではできないようなものづくりを体験させる。地域の一般住民と高齢者にも参加してもらい、「ものづくり」を通して、世代間交流とともに住民同士の交流を図る。 大型模造紙及びダンボールへの絵描き ダンボールハウスの設置
事業費	56,976円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の子どもたち同士及び子どもたちと大人がふれあう機会づくりができている。 ・子どもたちを中心に、地域の交流が図られるという点で、効果的な事業である。

## (オ) その他の事業

### 事務局管理運営事業

事業概要	中央東まちづくり推進委員会事務局に必要な備品や消耗品等を備える。 必要物品の購入 など
事業費	904,998円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・円滑な事務局運営が進められている。

## イ 地域別評価

市の中心部に位置し、集合住宅や商店街で構成されるため、地域課題を見つけづらい中、前向きに事業を進めている。

特に「中央東げんきづくり事業」では、地域内の高齢者の情報を持つ民生委員と連携することで効率的に事業を進めている。また、「生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業」では、寄せ植え講座を同時開催することで、参加者を増やそうとする創意工夫が見られる。中央西まちづくり推進委員会からノウハウを学んだ「フリーマーケット事業」には、今後の単独開催の内容に期待をしたい。



中央東げんきづくり事業



生ごみ減量ダンボールコンポスト事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	22,940人
世帯数	12,274世帯
面積	4.05km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	宮崎小学校、江平小学校、宮崎東中学校
事務所	中央東地域事務所（橘通西3丁目10番32号）

## (2) 中央西地域自治区(中央西まちづくり推進委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

文化あふれ、生きいき元気なまち 中央西

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

中央西地区防犯パトロール隊

事業概要	中央西地区の防犯・交通事故防止等対策としてパトロールを行う。中央西地区全域のパトロールを強化するため、自治会や老人クラブ、PTA等と連携して取り組む。 関係団体間の連携・調整 児童の登下校時に、通学路で交通誘導 徒歩、自転車での中央西地区内のパトロール
事業費	97,965円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。 ・地域で子どもを見守る取り組みと地域の防犯を合わせた事業であり、今後地域全体を網羅するような関係団体の連携が期待できる。

防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	800,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

中央西地区防災訓練事業

事業概要	地域住民の防災意識を高めるため防災訓練を実施する。 防災訓練の実施
事業費	69,645円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域全体で取り組む初めての訓練であるが、自治会連合会と連携し、多くの住民の参加が図られている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

健康福祉まつり

事業概要	高齢化にともない一人暮らしや閉じこもりがちの高齢者が増加しており、医療・介護に対する関心も高くなってきている。そこで、中央西地区で「健康福祉まつり」を開催し、各団体が協力し、生活弱者である高齢者を地域で支え合うという意義を広く参加者に理解してもらう。 健康福祉まつりの開催
事業費	210,153円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・宮崎公立大学と南九州大学の学生がボランティアで参加するなど、若い世代も参加している。 ・各種団体から地域内の商店まで多くの連携が図られている。



### 中央西ふれあい会食会事業

事業概要	高齢化にともない一人暮らしや閉じこもりがちの高齢者が増加しており、地区社会福祉協議会の支援を得て、ふれあい会食会を開催する。また、そば打ち体験を同時に開催し、高齢者との交流を図る。 会食会の開催 そば打ち体験の開催
事業費	88,667円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・閉じこもりがちな高齢者の外出の機会を設けられている。 ・2つのイベントを同時に開催することにより、相互の参加者の交流ができている。

### 三世代交流グランドゴルフ大会事業

事業概要	高齢者と小中学生の交流を深めるために三世代交流グランドゴルフ大会を開催する。 グランドゴルフ大会の開催
事業費	47,845円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地区社会福祉協議会や地区体育会との連携が図られている。 ・三世代の交流が図られ、生涯スポーツへの意識を高められる事業である。

### 親子交流風船バレーボール大会事業

事業概要	親子と地域住民間の交流を深めるために、風船バレーボール大会を開催する。 風船バレーボール大会の開催
事業費	7,850円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地区社会福祉協議会や地区体育会との連携が図られている。

### (ウ) 地域再生に係る事業

#### 中央西地区親睦ミニバレーボール大会

事業概要	スポーツを通じて、地域間や世代間の交流を深めるとともに、各自治会、地縁団体、住民相互の連携を図る。 ミニバレーボール大会の開催
事業費	117,480円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・スポーツを通じて、多くの交流が図られている。

#### 中央西地区大運動会

事業概要	スポーツを通じて、地域間や世代間の交流を深めるとともに、各自治会、地縁団体、住民相互の連携を図る。 中央西地区大運動会の開催
事業費	448,905円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体と実行委員会を組織することで、各団体の特徴を生かした運営を行うことができている。 ・広報等に積極的に取り組むことで、参加者数が平成20年度の700名から、800名に大幅に増加している。

## ICTを生かしたまちづくり

事業概要	中央西まちづくり推進委員会の情報発信のため、宮崎公立大学と連携協力のもと、ホームページの開設を含め、住民主体の地域情報発信の仕組みを検討するとともに、ICTを生かしたまちづくりに取り組む。 情報発信の人材育成講座の開催 ICT出前講座の開催 インターネット安全教室の開催
事業費	191,490円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・大学との協働によって実施されていることが評価できる。今後も効果的に進めてもらいたい。

## (エ) その他の事業

### まちづくり推進委員会運営事業

事業概要	中央西まちづくり推進委員会事務局の体制を整備する。 事務局の運営
事業費	769,158円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・事務局体制を整備し、委員等が立ち寄りやすい環境整備ができています。

### 中央西シンボルマーク募集事業

事業概要	中央西まちづくり推進委員会のシンボルマークを募集し、まちづくりのあらゆる活動時に活用する。 シンボルマークの作成
事業費	55,657円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・シンボルマークの入ったジャンパーを委員が着用するなど、シンボルマークを通してまちづくりを広く住民にアピールできている。

## イ 地域別評価

地域内の団体や企業などの地域資源を有効に活用している。「ICTを生かしたまちづくり事業」は、大学との連携事業の好例。今後も大学を拠点とした事業に取り組んでもらいたい。

また、地域内の自治会加入率が低迷する中で、「健康福祉まつり」では、多くの参加者が集まる事業を通して地域のきずなをつくろうという姿勢が感じられる。

平成22年度からは、子どもを中心とした事業を行う部会を新設したということで、積極的に事業を進めてもらいたい。



ICTを生かしたまちづくり



中央西ふれあい会食会事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	18,969人
世帯数	9,415世帯
面積	3.57km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	西池小学校、宮崎西中学校
事務所	中央西地域事務所（祇園1丁目49番地）

### (3) 小戸地域自治区(小戸まちづくり推進委員会)

#### まちづくりの活動方針(テーマ)

ずっと住み続けたい ほっとするまちづくり

#### ア 事業別評価

##### (ア) 防犯・防災に係る事業

###### 地域総合防災訓練

事業概要	地域住民の防災意識を高めるとともに、地域のきずなを再確認する。 各自治会へ自主防災組織設立の呼び掛け 西高松自治会防災訓練の見学 防災訓練の実施
事業費	395,915円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・消防団と連携することで、効果的に事業が進められている。

###### 防犯灯維持管理

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	420,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

###### 地域見守りネットワークの構築

事業概要	地域内の災害時要援護者の情報を共有し、支え合い・見守りの体制・ネットワークを確立する。 【各種団体の協力体制が整わなかったことから未実施】
事業費	0円
監査評価	
まちづくり評価	・要援護者の支援体制を整えることは非常に重要であるため、関係団体と連携して進めてほしい。

##### (イ) 地域福祉に係る事業

###### ふれ合いサロンの開設

事業概要	高齢者が定期的に外出する機会をつくることによって、閉じこもり防止や介護予防を進めるとともに、仲間づくりの促進を図る。 ふれ合いサロンに関する研修会の実施 サロン活動の見学 元気サロンの開催
事業費	54,356円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・高齢者の閉じこもり防止や介護予防を進めるうえで、効果的である。 ・NPOや地域の事業者にも協力を呼び掛けることで、地域の負担が軽減され長期的な活動となり、より効率的な事業展開が期待できるのではないか。

### ふれ合い会食会

事業概要	健康運動やレクリエーション等を付加した会食会を実施することにより、地域交流や生きがい創りを図る。 会食会の開催
事業費	15,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域交流や生きがい創りを図るうえで、効果的である。 ・開催場所の工夫やNPOや地域の事業者にも協力を呼び掛けることで、より効率的な事業展開が期待できるのではないかと。

### (ウ) 環境に係る事業

#### 環境美化ウォーキング・小松川美化啓発看板設置・健康増進吹き矢大会

事業概要	ゴミを拾いながらウォーキングをすることにより、環境保護・健康増進の意識高揚とともに、三世代交流の促進を図る。 環境美化ウォーキング大会・健康増進吹き矢大会 【新型インフルエンザのため中止】 小松川美化啓発看板設置
事業費	193,405円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・中止となった健康増進吹き矢大会はNPOと協力して進めている。今後もNPOなどとの連携を図ってほしい。

### 花のまち整備事業

事業概要	地域住民の美化活動に対する意識を向上し、花の手入れや水やり等で道路に出ることで住民同士のあいさつ運動と見守り運動につなげていく。 花の寄せ植え講習会の開催
事業費	163,753円
監査評価	適切な受益者負担を設定している。
まちづくり評価	・若い世代も参加しており、地域交流を図るうえで効果的である。 ・アンケートを実施し、地域住民のニーズ把握に努めている。

### (エ) 地域再生に係る事業

#### まちづくり推進掲示板の設置

事業概要	まちづくり推進委員会の取り組んでいる事業の内容や、いろいろなイベントの情報を、広く住民に広報する。 「まちづくり推進掲示板」の設置
事業費	353,200円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会との連携が図られている。 ・自治会未加入者に対する広報手段の一つとして効果的である。

### 地域再発見フォトコンテスト

事業概要	地域の情報収集から、自治会だより等の回報・広報紙の作成・発行に役立たせていく。 「懐かしい小戸のまち」と「未来に残したい小戸のまち」部門で写真を募集 入選作品を小戸小創立90周年記念の式典や文集に展示掲載
事業費	121,012円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・小戸小学校と連携することにより、効果的に事業が進められており、より多くの住民の参加が図られている。

(オ) その他の事業

事務局管理運営事業

事業概要	小戸まちづくり推進委員会事務局の運営 必要物品の整備 広報紙の発行 連絡調整、地域住民の意見収集
事業費	703,846円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・効率性を意識した運営ができています。

**イ 地域別評価**

地域内に地区社会福祉協議会がない中、福祉分野に積極的に取り組もうとしている。「ふれ合いサロンの開設事業」では、研修を行うなどして独自にふれ合いサロン事業を進めている。

また、「地域再発見フォトコンテスト」では、小学校と積極的に連携しようとする姿勢が見られる。

これらの取り組みについて、引き続き積極的に進めてもらいたい。



ふれ合いサロンの開設



地域総合防災訓練

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	11,082人
世帯数	6,571世帯
面積	1.96km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	小戸小学校
事務所	小戸地域事務所（鶴島2丁目18番23号）

#### (4) 大宮地域自治区、東大宮地域自治区

##### (大宮地域まちづくり推進委員会、東大宮地域まちづくり推進委員会)

#### まちづくりの活動方針(テーマ)

笑顔でいきいきあいさつ みんなで創る健康で 明るいまち大宮

#### ア 事業別評価

##### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 防災訓練事業

事業概要	防災訓練等を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。 防災訓練の実施
事業費	293,273円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・訓練により地域住民の防災意識が高まり、地域の連帯感が強まっている。

##### 防犯パトロール隊活動事業

事業概要	大宮・東大宮地域管内の「地域安全見守り隊」の活動を推進する。 防犯パトロールの実施
事業費	12,760円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・これまで別々に行われていた防犯パトロールを地域コミュニティ活動交付金活用事業として取り組むことで、横の連携が生まれ、無駄のない活動ができるようになってきている。

##### 防犯灯対策事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	2,038,200円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

##### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 地域福祉活性化事業

事業概要	少子高齢化や核家族化により、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しており、これら的高齢者を地域でどう支えるか、また子育て中の若い世代の相談場所作り、団塊世代を地域の中でどのように取り込んでいくか、課題解決を図る。 地域福祉活性化フォーラムの開催
事業費	193,609円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の福祉をどう進めていくのかということを住民が考え、実行していくうえでの指針を得られる有用な事業である。

大宮地区・地域のおばあちゃん事業

事業概要	核家族化が進み、地域の中で孤独に子育てをしている保護者が相談できる場所をつくる。 クラフト教室・料理教室の開催（乳幼児を子育て中の保護者と地域のおばあちゃん）
事業費	142,857円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域のおばあちゃんの知恵や力を借りることで、地域のつながりを生かしている。

(ウ) 環境に係る事業

地域の憩いの場、水辺づくり事業

事業概要	大宮地区を西から東へ流れる「新別府川（一級河川）」の堤防の草刈りやゴミ拾い、植栽等を行う事により景観を良くし、地域の人々が毎日散歩したくなるような護岸を作り上げる。 河川堤防の清掃など
事業費	755,388円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。 ・継続することが重要なので、次年度以降も引き続き実施してほしい。

(エ) その他の事業

大宮地区スポーツ・健康フェスタ

事業概要	子どもから高齢者まで幅広い世代に参加してもらい、各種の催し物・競技を通して世代間の交流を促進する。また、各種の体力測定や健康診断・相談コーナーを通して、健康に対する関心を持ってもらう。スポーツの楽しさと大切さを再認識し、日頃なじみの無いスポーツに親しんでもらう。 スポーツ・健康フェスタの開催
事業費	864,241円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域内の医療機関から50名を超えるスタッフが参加している。地域と医療機関との連携が図られたことで、今後のコミュニケーションがより円滑に進められると思われる。

民俗芸能まつり事業

事業概要	神楽や踊りなど、大宮地域の伝承芸能を広め、継承していく。 民俗芸能まつりの実施 継承者育成
事業費	325,797円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地元の神楽や舞を知らなかった子どもたちへの効果が大きい。 ・広く市民にも継承してほしい。



## 史跡・文化リーフレット作成事業

事業概要	大宮・東大宮地域の神社、仏閣、伝承芸能などを調査し、リーフレットにまとめ各家庭に配布する。これにより、地域内の文化について家庭内から興味を持ってもらい、それらの保護・保存に参加協力をしてもらう。 リーフレットの作成配布
事業費	505,124円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・一地域の史跡の調査報告という、行政では対応が難しいニーズに対応している。 ・リーフレットをきっかけに、地域で史跡に関する活動が計画されるなど波及効果も見られる。

## まちづくり推進委員会運営事業

事業概要	まちづくり推進委員会の活動を円滑にするための事務局における備品等の準備を行う。 必要物品等の購入
事業費	1,147,038円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各部会と連携し、効率的な運営を図っている。

## イ 地域別評価

地域の歴史・文化を通じて地域の一体感を持たせようとしている。「史跡・文化リーフレット事業」はその好例。リーフレットを今後も有効活用してもらいたい。

また、「地域の憩いの場、水辺づくり事業」では、地域まちづくり推進委員会が活動後、地元のボランティアが自主的に活動を始めるなど、地域を巻き込んだ良い波及効果が見られる。一方、「スポーツ・健康フェスタ」は、地域内の病院と連携した事業。今後も地域内で様々な連携を進めてもらいたい。



地域の憩いの場、水辺づくり事業



スポーツ・健康フェスタ

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	25,306人（大宮） 16,688人（東大宮）
世帯数	11,408世帯（大宮） 7,159世帯（東大宮）
面積	12.30km <sup>2</sup> （大宮） 5.80km <sup>2</sup> （東大宮）
小中学校（公立）	（大宮）大宮小学校、池内小学校、大宮中学校
	（東大宮）東大宮小学校、宮崎東小学校、東大宮中学校
事務所	大宮地域事務所（下北方町下郷6101番地）
	東大宮地域事務所（村角町島ノ前1346番地1）

## (5) 大淀地域自治区(大淀地域まちづくり委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

「光る川 天神の森 人が輝く住みよい 大淀」  
 ~笑顔が花咲く やさしいまち 大淀~

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 大淀地区の防災マップ作成に係るアンケート調査実施事業

事業概要	大淀地区に限定した、より身近で使いやすい防災マップを作成する。そのため、本年度はマップに対する意識調査を実施し、防災への関心を高める。 ハザードマップ及び避難所マップに対する意識調査
事業費	0円
監査評価	
まちづくり評価	・多くの参加者が見込める別事業(「大淀地域まちづくり推進大会」)の参加者に対してアンケート調査を行い、効率的に多くの地域住民のデータ収集ができています。

##### 自主防災組織に係るアンケート調査実施事業

事業概要	自治会における自主防災組織の現状を把握し、未結成の自治会には結成を働きかける。また、活動マニュアルを作成する。 アンケートの実施
事業費	4,320円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会との連携が図られている。

##### 防災フェアー実施に係るアンケート調査実施事業

事業概要	防災訓練の現状を把握し、大淀地域全体を対象とした防災訓練・講座を実施して、防災・減災の意識向上とスキルの向上を図る。 アンケートの実施
事業費	0円
監査評価	
まちづくり評価	・多くの参加者が見込める別事業(「大淀地域まちづくり推進大会」)の参加者に対してアンケート調査を行い、効率的に多くの地域住民のデータ収集ができています。

##### 災害対策関連団体との連絡協議会開催事業

事業概要	各種団体が個々に地域の災害対策を行っているため、連携が希薄であり、重複した活動もあることから、各種団体との連絡協議会を開催し、連携強化に努め、活動の充実を図る。 連絡協議会の開催 アンケートの実施
事業費	2,010円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・関連団体との連携が図られている。今後、さらに連携を深め、継続して取り組んでほしい。

地域住民に対する交通安全と防犯の見守り事業

事業概要	大淀地域自治区において、広域に自主防犯パトロールを実施し、犯罪及び事故・災害から安心な生活を守るとともに、児童生徒の見守り活動を行う。 防犯パトロールの実施
事業費	182,063円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域内をほぼ全域パトロールすることができている。 ・活動を定期的に継続していただきたい。

防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	744,240円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

(イ) 地域福祉に係る事業

地域福祉マップ及び子ども安全マップ作成事業

事業概要	大淀地域すべての住民が、安全・安心な生活を築くために、そのニーズにあった活動を行う。 地域福祉マップの作成 子ども安全マップの作成
事業費	147,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域包括支援センターや中学校との連携が図られている。 ・高齢化社会・核家族化という課題に対応できるマップになっている。

(ウ) 環境に係る事業

「ひまわりの花植栽」推進事業

事業概要	道路脇の休耕田に「ひまわりの花」を植栽し、地域住民に明るさと元気を与えるとともに、はつらつとした景観を創出する。 ひまわりの植栽の実施
事業費	89,744円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民が一体となって作業したことで、地域の連帯感が生まれている。 ・植栽活動を継続して、住民交流につなげていただきたい。

省資源・資源リサイクル・ごみ減量等のための工場見学事業

事業概要	ゴミ処分場やリサイクルの現場を視察・見学して、環境問題を理解し、今後のゴミ処分や資源リサイクル等の啓発に役立てる。また、各地域の「ごみ分別大使」と意見交換会を開き、今後の住民意識の改革と事業の共同推進を図る。 ごみ処分場、資源リサイクルセンターの視察・見学 大淀地域「ごみ分別大使」との意見交換会
事業費	31,500円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・「ごみ分別大使」の情報の共有化など、自治会との連携が図られている。

環境問題の「アンケート調査」事業

事業概要	環境問題に関する住民のニーズを取り上げて、今後の施策・事業計画に役立てる。 アンケートの実施
事業費	0円
監査評価	
まちづくり評価	・今後の環境問題に関する事業に生かしてほしい。

(エ) 地域再生に係る事業

伝統・伝承文化等の実態調査事業

事業概要	地域内に現存する伝統・伝承文化及び伝説として伝承されている事象・事物の現況実態と地域の変遷・歴史を調査する。 地域内に現存する「霧島神社」の現地実態調査 「地震時の呪文:キョウツカ キョウツカ・・・の伝承由来」の現地聴取調査
事業費	448円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・今後、地域住民にも広く参加を呼び掛け、事業を進めてもらいたい。

「大淀地域文化塾」開催事業

事業概要	住民が10年、20年後、豊かで希望を持てる生活を営めることを願い、地域を継承する力について考え、今の住民ができる具体的な方策を文化方面から探る。 「文化塾」の開催
事業費	6,800円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・委員の意識向上につながっている。今後、地域住民にも広く参加を呼び掛け、事業を進めてもらいたい。

(オ) その他の事業

「ふれあいグラウンドゴルフ競技大会」事業

事業概要	グラウンドゴルフ大会を通して、地域住民の交流と健康増進を図る。 グラウンドゴルフ大会の実施
事業費	21,744円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民のふれあいを通して、地域の連帯感が高まっている。

ふれあい健康ウォーキング大会事業

事業概要	自然に親しみ、心と身体健康増進と地域のふれあい交流を図る。 ウォーキング大会の実施【雨天のため中止】
事業費	53,926円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・中止にはなったが、準備作業等の経験を今後の事業に生かしてほしい。

#### 大淀地域まちづくり推進大会開催事業

事業概要	地域の再生と活性化を推進する「大淀地域まちづくり委員会」を大淀地域住民に強くアピールするとともに、地域住民が夢を持ってまちづくりへ参画することの重要性について考える。 大淀地域まちづくり推進大会の開催
事業費	420,103円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会や各種団体との連携が図られている。 ・神楽や吹奏楽の演奏など「地域の皆さんによる発表会」を行うことで、世代・団体を越えた交流の場となっている。

#### 情報活動推進事業

事業概要	地域内の情報誌の情報を一体化して、相乗効果を図り、広報活動を強化する。 おおよど元気だよりの発行
事業費	238,875円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民のニーズに応えられる情報誌を目指して編集されている。今後は複数回の発行も検討してほしい。

#### 技人募集事業

事業概要	住民の持つ知恵、技術、技能を大淀地域のまちづくり活動に提供してもらい、円滑な事業の推進を図るとともに、地域住民のまちづくりへの参画を促進する。 技人の募集・登録
事業費	20,076円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・今年度は登録のみということで、次年度の活動に生かしてほしい。

#### 大淀地域まちづくり活動報告会開催事業

事業概要	「大淀地域まちづくり委員会」の平成21年度の活動報告を行う。 大淀地域まちづくり活動報告会の開催
事業費	86,334円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・報告会で出された意見や要望を今後の事業に生かしてほしい。

#### 地域まちづくり委員会運営事業

事業概要	委員会内外の連絡調整等を行う。 企画検討会の開催 部会及び他団体との連絡協議会 必要物品の購入
事業費	1,076,405円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・連絡調整を行い、初年度の体制づくりに円滑に取り組んでいる。

## イ 地域別評価

様々なアンケート調査を行い、地域の実情把握に努めている。また、その結果を地域住民に還元するなど、その過程もしっかりとしている。

その過程の一環である「情報活動推進事業」で作成・発行している『おおよど元気だより』は、読みやすいように紙面が工夫されている。地域内の銀行やスーパー等でも配布するなど、情報発信にも積極的に努めている。

これらの取り組みを今後の事業に的確に反映させ、より効果的な活動を進められることを期待したい。



地域住民に対する交通安全と防犯の見守り事業



「ひまわりの花植栽」推進事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	23,186人
世帯数	10,687世帯
面積	11.89km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	大淀小学校、古城小学校、宮崎南小学校、大淀中学校
事務所	大淀地域事務所（大坪町西六月2211番地1）

## (6) 大塚地域自治区(大塚地域まちづくり推進委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

次世代も 笑顔あふれる 幸せな街 大塚

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 防災マップ作成事業

事業概要	災害時に役立つ重要な情報や心構えなどを盛り込んだマップの作成や住民が取り組める救難体制を整備することで、住民の防災意識の高揚と災害時の行動力を身につける。 防災マップの作成 防災・炊き出し機材の整備 地区ごとの防災訓練の実施
事業費	1,364,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・マップ作成などの取り組みが、地域の自主防災連合会結成につながるなど防災意識の高揚が図られている。

##### 見守り活動事業

事業概要	防犯灯の維持管理や子どもたちの登下校の交通安全確保など、地域全体を見守ることで住民が安心して暮らせる安全なまちづくりを行う。 防犯灯電気料の支払い 足型マークの吹きつけ 子どもの見守り活動 見守り活動組織の研修・情報交換会
事業費	1,071,911円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・見守り活動は地域住民からのニーズが高く、信頼も厚い。足型マークの吹きつけについても保護者からその効果を評価されている。

##### 交通安全教室支援事業

事業概要	三世代交流・見守り活動の一環として、子ども達に自分達の登下校を見守る活動班との顔合わせ(子ども達と仲良くなること)と活動紹介を行う。 大塚小学校の交通安全教室に参加【台風のため中止】
事業費	2,960円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・中止にはなったが、関連団体や学校との連携が図られている。



(イ) 地域福祉に係る事業

男女共同参画社会づくり事業

事業概要	子育て・高齢者・障害者支援や異世代交流を通じて、だれもが自分らしくいきいきと生きていけるまちを目指す。 地域座談会、講演・研修会の開催 小学校の参観日の「子どもの見守り」 福祉サロン開設の準備
事業費	433,156円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域座談会は、地域住民が演劇により問題提起をするなど工夫を凝らしている。 ・事業内容が講演会や福祉サロン開設準備など多岐にわたり、地元のニーズに応えられている。 ・人々の意識を変えていく活動は重要であり、継続してほしい。

(ウ) 環境に係る事業

かぶと虫の森づくり事業

事業概要	環境教育の一環として「かぶと虫」の活動を観察することによって命の尊さを学ぶ。 かぶと虫の養育・観察や放虫
事業費	94,038円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域と学校との連携事業として、今後も発展させていってほしい。

(エ) その他の事業

メタボ対策事業

事業概要	料理教室を通じて、地域住民の交流と健康増進を図る。 料理教室の実施
事業費	59,505円
監査評価	適正な負担金を設定している。
まちづくり評価	・参加した地域住民の満足度も高い。今後は高齢者や若い世代の男性も参加できるような工夫をしてもらいたい。

親子手作りタコ上げ（凧揚げ）大会事業

事業概要	最近あまり見なくなった凧を親（保護者）と手作りし、凧揚げをすることで、子どもたちの健全育成を図る。 親子手作りタコ上げ（凧揚げ）大会の実施
事業費	77,515円
監査評価	適正な負担金を設定している。
まちづくり評価	・手作りをして遊ぶことがあまりない親子にとって、貴重な体験となっている。

地域まちづくり推進委員会運営事業

事業概要	地域まちづくり推進委員会の円滑な運営のために、事務局体制の充実を図る。 必要物品の整備 広報活動 など
事業費	268,119円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・効率的な事務局運営が図られている。

## イ 地域別評価

親子で参加する事業や（「親子手作りタコ上げ（凧揚げ）大会事業」）、他地域の良い取り組みを視察する事業など、事業を実施するに当たっての着眼点が良い。地域住民に対するアンケートも有効に活用できている。

加えて、中高生の参加が多くあることは大いに評価すべきである。とりわけ高校生の参加が得られていることは特筆される。

また、まちづくりに男女共同参画の視点は重要。「男女共同参画社会づくり事業」の演劇は迫真の演技であった。意識が醸成されるよう今後も事業を進めてもらいたい。



親子手作りタコ上げ（凧揚げ）大会事業



男女共同参画社会づくり事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	20,943人
世帯数	9,042世帯
面積	3.87km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	大塚小学校、江南小学校、大塚中学校
事務所	大塚地域事務所（大塚町鎌ヶ迫2296番地3）

## (7) 檜地域自治区(檜地域まちづくり推進委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

～檜に住んで良かった、檜に住みたいと思えるような、魅力あるまちに～  
あかるく住みよい おたがいが助けあう きずなを強める 檜地域にする

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	1,164,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

##### 檜地域防災訓練事業

事業概要	檜地域全体の防災(減災)意識の向上とともに、自主防災組織の増加を図る。また、檜地域消防団組織の活性化に努める。 防災訓練の実施
事業費	165,952円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地区自治会連合会など関連団体との連携が図られている。

##### 青色パトロール推進事業

事業概要	安心・安全なまちづくりのための防犯活動、子ども見守り活動を行い、犯罪のない明るく住みよいまちづくりを進める。 青色パトロールの実施
事業費	48,866円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民や学校からの評価が高い。まだ地域全体での活動に至っていないということで、今後、活動エリアを広げていってほしい。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 子育て支援事業

事業概要	子育て中の保護者を支援する。 子育ておしゃべり会の開催
事業費	198,006円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・NPO団体と連携することで、より専門性の高い事業内容となっている。 ・広報にメディアを活用するなど、工夫を凝らしている。

##### ふれあいサロン事業

事業概要	引きこもりがちな高齢者に交流の場を提供する。 ふれあい会食会の実施
事業費	127,235円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域包括支援センターや関連団体と連携し、効果的に事業を進めている。

### 参観日子ども一時預かり事業

事業概要	小学校低学年の保護者が気軽に授業参観及び懇談会に参加できるように、未就学児と低学年児を預かる。 一時預かりの実施
事業費	89,665円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・学校との連携が図られている。 ・若い世代の保護者にまちづくりについて知ってもらう良い機会にもなっている。 ・大変有意義な事業であり、全市的に拡がるよう継続していただきたい。

### 三世代交流事業

事業概要	地域の高齢者や地域の指導者と育成者である親、子どもたちとのふれあいの場を作る。 三世代交流グラウンドゴルフ大会の開催
事業費	57,670円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・コースの設営等を老人クラブが担当するなど、関連団体との連携が図られている。

### (ウ) 環境に係る事業

#### 一ツ葉入り江を市民の里浜にする事業

事業概要	希少生物の生息する一ツ葉入り江の干潟の重要性を啓発保存し、市民がいやしの場として活用するとともに、児童生徒の自然環境を大切にする学習の場としても活用する。 コアジサシ保護活動（一ツ葉入り江の除草、デコイ制作、設置、営巣状況観察） ミニ水族館 干潟観察会
事業費	268,446円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・宮崎大学や公民館講座と連携するなど効果的に事業を進められている。 ・多くの地域住民の参加があり、満足度も高い。

#### 新別府川・江田川・前田川をきれいにする事業

事業概要	新別府川・江田川・前田川を楽しめる川、花の景観のある川、住民が自慢のできる川にする。 新別府川・江田川クリーン大作戦・河川浄化勉強会・河川調査 江田川散策会 コスモスの播種 憶地域の景観の変容を知る写真展
事業費	207,660円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・5ヵ年計画ということで、各種団体と連携を図り、より多くの住民が参加できるよう進めてもらいたい。

(エ) 地域再生に係る事業

郷土芸能祭り事業

事業概要	<p>憶地域に伝わる神楽や踊り、獅子舞などの伝統芸能を一堂に会して発表をする「場」を設けることで、一人でも多くの人たちに地域に伝わる伝統芸能文化を知ってもらえるように機会を増やしていく。 郷土芸能祭りの開催</p>
事業費	597,828円
監査評価	適切。
まちづくり評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憶振興会など関連団体との連携が図られている。</li> <li>・大型ショッピングセンター駐車場で開催することで、多くの人に披露するなど、効果的に進められている。</li> </ul>

憶地区文化祭三拍子踊り参加発表事業

事業概要	<p>平成19年に復活披露した「あおきの盆踊り」を憶地区文化祭に参加し披露する。憶地区文化祭に参加することで、憶地域に現存する伝統芸能を継承保存するとともに、伝統芸能の発表の場を設けることで、地域住民に広く「あおきの盆踊り」の存在を知ってもらう。 「あおきの盆踊り」の披露（憶地区文化祭）</p>
事業費	5,670円
監査評価	適切。
まちづくり評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憶振興会など関連団体との連携が図られている。</li> <li>・地域の祭りなどでも踊られるようになるなど、波及効果も見られる。</li> </ul>

みんなで楽しもう！憶地域スポレク祭典事業

事業概要	<p>子どもから高齢者まで幅広い地域住民が参加できて、楽しめるスポーツ・レクリエーション大会を開催する。懇親と親睦を図り、住民の連帯・協力意識を醸成する。 スポレク祭典の開催【新型インフルエンザ・雨天のため中止】</p>
事業費	158,237円
監査評価	適切。
まちづくり評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の段階から、関連団体との連携が図られている。</li> </ul>

憶地域ふれあい球技大会事業

事業概要	<p>子ども・高齢者を含め、幅広い地域住民の参加による、楽しめるスポーツ・レクリエーション大会を通して、懇親と親睦を図り、住民の連帯・協力意識を醸成する。 宮崎市ミニバレーボール大会の開催（潮見地区と憶地区の同時開催）</p>
事業費	146,740円
監査評価	適切。
まちづくり評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通して地域の親睦を深められている。</li> <li>・大会の予選会を兼ねるなど、効率的な運営を進めている。</li> </ul>

歩こう会事業

事業概要	<p>憶地域の再発見をし、健康の維持増進及び懇親と親睦を図る。 歩こう会（ウォーキング）の開催 【新型インフルエンザと雨天のため中止】</p>
事業費	41,707円
監査評価	適切。
まちづくり評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の段階から、関連団体との連携が図られている。</li> </ul>

憶地域情報システム整備事業

事業概要	地域の既存データや住民のニーズ等の把握、整理を行い、これらの地域の各種データと地図情報をリンクさせ、地図情報システムを構築、地域再生に必要な基礎資料を整備する。 システムの整備
事業費	518,433円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・今後、計画的なデータ収集に努め、地域目線でまちづくりに生かせるシステムを構築してもらいたい。

地域まちづくり掲示板設置事業

事業概要	まちづくり掲示板を設置することで、自治会活動やまちづくり推進委員会の活動などを地域住民にアピールし、自治会加入の一助にする。 掲示板の設置
事業費	382,200円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会との連携を深め、効果的な活用方法を十分に検討してほしい。

ふれあい広場 in あおき事業

事業概要	保育園や小中学校、各種団体のステージ発表や軽トラック市を取り入れ、異なる年齢の子ども達と一緒に遊んだり、幅広い世代間・異業種間での交流を持ったりすることを目的とする。 軽トラック市（憶地域で採れた農水産物の販売） もちつき大会、野菜の競り 中学校の吹奏楽演奏や和太鼓演奏
事業費	251,752円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・世代間、異業種間、地域間での交流が図られている。 ・アンケートなど地域住民の意見を取り入れながら進めてもらいたい。

(オ) その他の事業

未来につなぐ体験スクール事業

事業概要	憶地域の4小学校の生徒たちを対象に、作業体験（飯ごう炊さんやカレー作りなど）やレクリエーション、ニュースポーツを通じて子どもたちの交流を図る。交流を通して友達をつくり、子どもたち同士での情報交換ができる場を提供する。 作業体験やスポーツ、危険予知トレーニングなど
事業費	26,210円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・多くの関連団体との連携が図られ、地域の大人が子どもの活動に加わっている。 ・さまざまなレクリエーションを通して、子どもの自主性を伸ばそうとしている。

### 憶地域中学生意見交換交流事業

事業概要	憶地域にある2つの中学校の生徒会役員同士で、お互いの学校の状況・情報交換を行う。交流会を通して、互いの学校の取り組みや中学生たちが感じ取っている憶地域の良さ、改めたいことなど意見を出し合い、どうしたら住みよい憶地域にすることができるか等、憶地域の未来像について考える。 意見交換会の実施
事業費	48,067円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・将来のまちづくりを担う子どもたちに、地域との関わりを考えてもらう良い機会となっている。 ・学校との連携が図られている。中学校間の交流が生徒には良い刺激となっていて、満足度も高い。

### 憶地域まちづくり推進委員会運営事業

事業概要	憶地域まちづくり推進委員会の円滑な運営を目的とする。 実行部会の開催 広報活動 必要物品の整備 など
事業費	1,357,554円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・説明会を開き、要望を聞くなどの機会を設けており、地域住民のニーズ把握に努めている。

### 災害時等対応積立事業

事業概要	地域が台風・水害・地震災害に被災した場合等の活動資金の積立を行う。 基金の積立
事業費	300,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・計画的に進めてもらいたい。

## イ 地域別評価

地域が広いが、小学校ごとに説明会を行うなど、情報提供に努めている。

個別の事業を見ると、「参観日子ども一時預かり事業」は小さなニーズを拾いあげて取り組んでいる好例で、かつ成果を上げている。地道に活動している女性の視点で進められている。

地域が広く人口も多く、地域ニーズも多様であるため、非常に多くの事業を手がけていて負担も大きいと推察されるが、平成21年度事業の結果を分析して、的確な事業選定を行うとともに、活動に参画する住民の数を増やしていくことが期待される。



一ツ葉入り江を市民の里浜にする事業



子育て支援事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	40,616人
世帯数	18,443世帯
面積	17.14km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	櫛小学校、潮見小学校、宮崎港小学校、櫛北小学校、宮崎中学校、櫛中学校
事務所	櫛地域事務所（吉村町江田原甲265番地1）



## (8) 大塚台・生目台地域自治区(大塚台・生目台地域まちづくり推進委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

少子高齢化などの地域の様々な課題を発掘し、住民の方々と力を合わせて取り組み、子どもたちにふるさとを、誇れるまちづくりを目指す。

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 大塚台地区地域防犯推進活動事業

事業概要	住民の自主的な地域安全活動を地域全体で推進し、街頭犯罪に対する住民意識を高揚させるとともに、犯罪の発生を抑制させる。 見守りパトロールの実施
事業費	58,194円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域協議会や自治会、子ども会、PTA、各種ボランティアと連携が図られている。 ・地域の防犯意識の高揚が図られ、地域づくり活動の成果が得られている。

##### 夜間の安全マップ作成事業

事業概要	昼間は安全と思われる場所でも夜間になると街灯が暗かったり、街路樹等で薄暗くなったりする場所の確認並びに住民への情報提供を行う。 団地内の危険箇所の確認作業 安全マップの作成
事業費	32,074円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域協議会や防犯パトロール隊、警察、PTA等との連携が図られている。 ・夜間の危険な場所の把握調査やその結果を生かした防犯パトロールなど関連性のある事業を展開し、住民の意識改革の一助にもなっている。

##### 大塚台地区総合防災訓練事業

事業概要	大規模災害時に対応する防災訓練を地域全体で定期的実施し、災害に強い地域づくりを行う。 総合防災訓練の実施
事業費	97,181円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域協議会、自治会、自主防災組織、消防団等との連携が図られている。 ・防災に対する住民の意識高揚が図られている。

##### 生目台地区総合防災訓練事業

事業概要	「自分の身は自分、地域は地域で守る」という防災の理念に基づき、災害時の防災意識の向上を図る。要援護者の避難訓練を実施し、避難経路を確認、課題や問題点を見つけ、改善を図る。 総合防災訓練の実施
事業費	197,184円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会、自主防災組織、給食ボランティア、中学生ボランティア、民生委員、福祉協力員等との連携が図られている。 ・実際の災害を想定した訓練や、地域の実情に合わせた訓練に取り組んでいる。

(イ) 地域福祉に係る事業

介護者のケア事業

事業概要	自宅で介護している家族の心のケアと介護の相談を実施し、家族の心のリフレッシュを図る。 スポーツトレーナーによるストレッチの講習 介護相談など
事業費	3,332円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・民生委員、福祉協力員、福祉団体等と連携が図られている。 ・団地の高齢化対策として必要な事業である。

ふれあいルーム運営事業

事業概要	老若男女が気軽に立ち寄れる場所を提供し、友達やグループの交流場や集会場として地域住民に開放する。 ふれあいルームの運営
事業費	1,060,247円
監査評価	適切。施設利用者に一定の受益者負担を求めるなど、適切な取り扱いを行っている。
まちづくり評価	・年齢を問わず、誰でも気軽に利用できる交流の場を提供できている。 ・運営改善のためのアンケート調査の結果を踏まえて、さらに利用しやすい施設作りに努めてもらいたい。 ・地域コミュニティの拠点づくりであり、活発化していただきたい。

高齢者・障がい者見守り活動事業

事業概要	団地内の高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や夫婦世帯が増えており、家の中の引きこもりや孤独死の事例も発生しているため、民生委員による見守りを実施する。 民生委員等による見守り（訪問時に、子ども達が収穫した餅米を使った赤飯を配布）
事業費	144,246円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・高齢化が深刻な問題となっている地域の実情に合った事業である。 ・安否の確認と対話のきっかけづくりなど、細やかな配慮がされている。

ふれあいサロン活動事業

事業概要	高齢者の介護の悩みを抱えた方の専門的な相談ではなく、世間話を主とした地域住民との交流の場を提供する。 講師を招いた講話やストレッチなどの軽い体操を通じた交流会の開催
事業費	92,691円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・高齢者同士の会話を通じて交流の輪が広がり、悩みの相談や情報交換を行うことができている。 ・近場の施設を利用するなど、高齢者に配慮した活動を行っている。

#### 一人暮らし高齢者健康チェック事業

事業概要	一人暮らし高齢者の食事の改善相談並びに血液検査による健康チェックを行う。 南九州大学生による高齢者の食事内容の聞き取り調査 開業医による血液検査 検査結果に基づく食事の改善指導
事業費	64,237円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・医師や大学生による専門的な事業内容となっている。 ・女性の参加者が多いようなので、今後は男性の参加も促してほしい。

#### (ウ) 環境に係る事業

##### 里山創造事業

事業概要	団地内の住民の憩いの場と、子ども達が自然とのふれあいができる場を提供する。 団地内市有林の、見晴らしのための枝打ちや散策道の新設
事業費	199,120円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・環境美化と高齢者の生きがいづくりの二面性を持った事業であり、今後も内容の充実を図ってほしい。 ・地区内外の交流の場となっている。

##### 里山整備事業

事業概要	造成された団地内の緑地を保全し、自然とのふれあいの場を創出する。 樹木の剪定や風倒木の除去作業 散策道の新設や手作り花壇の整備 花木の植栽管理
事業費	91,226円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・子どもたちが里山に親しみを感じるようになっている。 ・四季折々の花木が楽しめる植栽を行うなど改善に努めている。

##### 地区内環境美化活動事業

事業概要	団地内の花壇の植栽・管理を行い、子ども達の環境美化に対する意識を向上させる。 花壇の管理ボランティアの募集 団地内の花壇の植栽
事業費	23,347円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・花を通じた交流が生まれ、ボランティアの輪が広がっている。 ・子どもの環境美化に対する意識を向上させている。

##### ペットふん対策事業

事業概要	散歩中に犬のふん処理をしないため、散歩される方や公園利用者から苦情が出ており、飼い主のモラル向上を図る。 ふん処理の注意喚起のための立看板設置
事業費	48,190円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会と連携し、被害の多い箇所を確認するなど効率的に進めている。 ・地味な活動ではあるが、息の長い活動として継続してもらいたい。

(エ) 地域再生に係る事業

家族参加型ふれあいウォーキング大会事業

事業概要	ウォーキングを通して地域住民の健康増進と地域コミュニティの再生を図る。 ウォーキング大会の開催
事業費	67,153円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会や高齢者クラブとの連携が図られている。 ・住民同士の交流が図られている。

みんなで参加・健康ウォークラリー事業

事業概要	環境部会が整備している里山の探索をコースに入れ、自然とふれあいながらのウォーキングを通して健康増進を図る。 ウォークラリーの実施
事業費	3,740円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会や小学校との連携が図られている。 ・自然を通じた住民同士の交流が図られている。

健康づくり体験教室事業

事業概要	子どもから高齢者までの幅広い年齢層の交流を図る。 盆踊り講習会の実施
事業費	5,740円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・住民が主体となり、地域で傳承されていた生目台音頭を復興できている。

健康づくり講演会事業

事業概要	異なる年齢層の健康増進と交流を図る。 【新型インフルエンザのため中止】
事業費	0円
監査評価	—
まちづくり評価	—

ふれあいスポーツ交流大会事業

事業概要	スポーツを通して高齢者と地域住民との交流を図る。 グラウンドゴルフ大会の開催
事業費	148,891円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会や高齢者クラブとの連携が図られている。

(オ) その他の事業

子どもの生きる力を育む事業

事業概要	地域内の子ども達と地域住民が稲作等を通して交流し、地域ぐるみでの子育て支援を図る。 稲作体験 リーダー育成研修 小・中学生ふれあい交流
事業費	297,782円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会、高齢者クラブ、青少年育成協議会との連携が図られている。 ・子どもたちに自然の厳しさや食の大切さを伝えることができている。

地域まちづくり推進委員会運営事業

事業概要	地域まちづくり推進委員会の各事業を円滑に実施するための事務を行う。 ホームページの更新 まちづくり情報紙の発行並びに配布 事業実施に伴う事務補助
事業費	342,147円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・事業に対する住民の理解や参加意識の高揚を図っている。

子どもまつり事業

事業概要	子どもの健全育成を目的とし、各種団体や中学生ボランティアの協力により校内宿泊体験などの小学生の思い出を作る。 ハンカチを使った高齢者ボランティアによるマスコットづくり 竹を使ったソウメン流し ダンボールハウスでの宿泊体験
事業費	116,551円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・高齢者クラブや自治会、青少年育成協議会、おやじ会、小中学校の先生との協力が図られている。 ・小学生時に参加した中学生がボランティアとして育っている。

発見 in 生目台事業

事業概要	団地内を散策し、地域の良さを再発見する。 ウォークラリーの実施（小中学生が企画運営）
事業費	15,332円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会、学校との連携が図られている。 ・小学生時に参加した中学生がボランティアとして育っている。

もちつき事業

事業概要	団地内の2つの小学校、中学校の生徒がもちつきを通して、おやじ会や地域ボランティアとの交流を図る。 もちつきの実施
事業費	36,324円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・世代を越えた交流が図られている。 ・子どもたちと顔見知りになることで、日常的に声掛けができるようになってきている。

## イ 地域別評価

年に2回、全世帯に広報紙を配布。その際に可能な限り手配りをしながら対面式で意見を聞く取り組みを行っている。ユニークなニーズの把握方法である。それらの取り組みの成果を生かして地域の実情に即した多くの事業を実施している。

また、ふれあいルームという、使い勝手のよい地域活動の拠点施設があるということはまちづくりにとって有用。

個別の事業で見ると、「子どもまつり事業」では地域内の各種団体が、それぞれの活動を集約して行っている。互いの負担感が増すことなく、相乗効果が見られる連携の好例である。



子どもまつり事業



里山創造事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	17,223人
世帯数	6,790世帯
面積	2.86km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	宮崎西小学校、生目台東小学校、生目台西小学校、生目台中学校
事務所	大塚台・生目台地域事務所（大塚台西2丁目18番地1） 平成22年6月1日 大塚台地域自治区と生目台地域自治区に分離 大塚台地域事務所（大塚台西2丁目18番地1） 生目台地域事務所（生目台東4丁目6番地2）

## (9) 小松台地域自治区(小松台地域まちづくり委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

みんなが住んでよかった、そして住み続けたいまち

笑顔あふれ、支え合いのあるまち・・・小松台地域・・・を目指して

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 小松台地域防災訓練事業

事業概要	災害時に住民が迅速に対応することができるようにするため、防災訓練を実施する。 防災訓練の実施
事業費	368,370円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・関連団体との連携が図られている。

##### 明るいまちづくり事業

事業概要	地域のパトロール等を実施し、犯罪のない明るいまちづくりと青少年の健全育成を図ることを目的とする。 防犯パトロールの実施
事業費	316,065円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域からボランティアが参加するなど、地域住民が地域の安全を守るという意識が高まっている。

##### 災害時対応積立事業

事業概要	発災直後、早期に食糧を供給することができるよう、災害時の食糧購入を目的とする。 積立の実施
事業費	60,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・計画的に進めてもらいたい。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### ふれあいサロンの充実事業

事業概要	地区高齢者の閉じこもりを解消し、介護予防や健康についての情報を提供し、高齢者の見守りを推進する。 サロン推進委員会の設立 現在活動中のサロンの充実、未開設地区のサロンの開設
事業費	208,474円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。 ・地域の高齢者に必要な事業であり、継続して行っていただきたい。

### 福祉まつり事業

事業概要	地域の団体と連携しながら、小松台地域住民が一体となって福祉活動と地域のふれあいの促進を図る。 福祉まつりの開催
事業費	122,802円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。 ・送迎バスを運行することで、高齢者の参加につながっている。

### 福祉活動研修事業

事業概要	福祉に関する事業推進のための研修及び視察研修を行う。 視察、研修の実施
事業費	68,893円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。

### (ウ) 環境に係る事業

#### 美しいまちづくり事業

事業概要	ゴミ減量とリサイクル運動の推進を実施し、美しいまちづくりを目指す。 ダンボールコンポスト講習会の開催 環境講演会の開催 マイバッグ、廃油回収の推進に関する啓発チラシの作成 ほか
事業費	292,838円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会との連携が図られている。 ・フォローアップ講習会を開催するなど、効果的に事業を進められている。

### (エ) その他の事業

#### 事務管理事業

事業概要	小松台地域まちづくり委員会総括業務の推進。 まちづくり委員会だより、アンケート、チラシの作成 各部会の準備 など
事業費	428,382円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・まちづくり委員会だよりなどで実施した事業の報告をするなど、参加していない住民にも情報を提供できている。

#### 食育農業体験事業

事業概要	小松台地域自治区内のコミュニケーションを図る。 サツマイモ作り 収穫祭
事業費	116,131円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。 ・子どもから大人まで参加できることで、世代間交流が図られている。



## イ 地域別評価

地域自治区でまちづくりを進めるにあたって、単位自治会ではできないことに取り組むという基本的なスタンスが良い。「明るいまちづくり事業」の『防犯パトロール』では地域を網羅しており、その好例である。

また、典型的な都市部の団地であるが、事業内容が地域の実情に対して的確。例えば、「食育農業体験事業」では、多くが農業に関わりがないであろう子どもたちにとって、貴重な体験となっている。



明るいまちづくり事業



食育農業体験事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	6,921人
世帯数	2,765世帯
面積	0.84km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	小松台小学校
事務所	生目地域センター（大字浮田3153番地1） 平成22年8月8日 小松台地域事務所（小松台西1丁目10番地7）開所

## (10) 赤江地域自治区(赤江地域まちづくり推進委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

安全・安心で明るく住みよいまちづくりのために、住民アンケート結果内容を反映した事業計画を立て、住民のための事業を実践していく。

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	2,816,792円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

##### 地域防災訓練事業

事業概要	地域ごとの防災訓練を実施することにより、地域の連携強化、連絡体制の推進を図る。 防災訓練の実施
事業費	470,197円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・女性消防団や日赤防災クラブなど関連団体との連携が図られ、より専門性の高い事業内容となっている。

##### 地域防災マップ作成事業

事業概要	地域性を考慮し、用途の広いマップ(研修用)を作成する。 研修会の実施
事業費	361,360円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民の情報の共有化、防災意識の向上が図られている。

##### 自主防災組織の設立促進事業

事業概要	自主防災組織設立を促進することにより、地域住民の防災への意識を高め てもらう。 自主防災組織設立説明会の開催
事業費	6,320円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自主防災組織結成率が向上するなど、地域の防災意識が高められている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 河川浄化運動事業

事業概要	河川をきれいにし、住みよいまちづくりを目指す。 河川環境整備
事業費	36,713円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体と連携を図り、効率的に進めてもらいたい。

#### 赤江地区花いっぱい運動事業

事業概要	赤江地区内の親子を対象に花の寄せ植え講習会を実施する。親子で花の寄せ植えを作り、花のある暮らし、花を育てる楽しさを家庭の中から地域へと拡大していく。 寄せ植え講習会の実施
事業費	196,781円
監査評価	適切な受益者負担を設定している。
まちづくり評価	・若い世代を取り込んで事業を進められている。

#### 赤江地区フリーマーケット事業

事業概要	家庭内の不用品を持ち寄り、再利用してもらうことで、ごみの減量化を推進する。 フリーマーケットの開催
事業費	96,909円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・若い世代の出店が多いので、これをきっかけに積極的にまちづくりに参加するように働きかけてほしい。

#### (ウ) 環境に係る事業

##### 子育て支援事業 / 子守りボランティア

事業概要	地域全体で子どもたちを育てる。 小学校での参観日、研修会時における乳幼児の子守りボランティア
事業費	13,803円
監査評価	適切。ただし、計画性を持って事業を進めてもらいたい。
まちづくり評価	・関連団体と十分に連絡調整を行い、事業計画を立ててもらいたい。

##### 子育て支援事業 / 子育てサロン

事業概要	乳幼児期を育てている親の孤立を防ぐ。また、ボランティアを募集し、世代間交流の場とするとともに、子育ての悩みを解消する場とする。 子育てサロンの開催
事業費	237,878円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・育児中の若い親のニーズを把握できている。

##### 高齢者介護予防事業

事業概要	高齢者の疾病予防、介護補助研修の支援、健康講座などを地域包括支援センターと共催で実施し、高齢者や障害者にやさしいまちづくりを推進する。 転倒防止体操や健康講座の実施
事業費	24,368円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・疾病予防等、高齢者の意識を高めることができている。

##### ふれあいスポーツ交流事業

事業概要	地域住民が誰でも参加できるスポーツ大会を実施し、健康増進、地域交流を図る。 三世代交流グラウンドゴルフ大会の開催 【新型インフルエンザのため、学校等への広報は中止】
事業費	41,945円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・スポーツを通じた交流が図られている。

(エ) その他の事業

「赤江まちづくり」の広報事業

事業概要	赤江地域まちづくり推進委員会の事業内容や活動を地域住民に広報する。 広報誌「人・夢・あかえ」の発行 推進委員募集のチラシ、ポスターの作成
事業費	926,793円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・広報誌に対するアンケートを実施し、住民の意見を反映させている。

事務局運営事業

事業概要	まちづくり推進委員会事務局の事務局備品を備える。 必要物品の購入 など
事業費	547,769円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・事務の効率化が図られている。

**イ 地域別評価**

地域が広いので、事業の広報や地域の認識の周知には苦労されていると推察されるが、平成21年度の取り組みから見えた課題を前向きに生かすことで、今後の改善が期待できる。

個別の事業を見ると、「子育て支援事業/子育てサロン」は参加者からの評判も良く、子育て世代のニーズを把握している効果的な事業。今後もこのような効果的な事業や新しい事業にも積極的に取り組んでもらいたい。



子育て支援事業 / 子育てサロン



地域防災訓練事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	56,361人
世帯数	25,256世帯
面積	25.11km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	恒久小学校、赤江小学校、本郷小学校、国富小学校、赤江中学校、本郷中学校、赤江東中学校
事務所	赤江地域センター（大字田吉5730番地3）

## (11) 木花地域自治区(木花地域まちづくり推進委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

笑顔で参加、築こう安心・安全、自然豊かな住みよい木花の里

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	891,679円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

##### 防災マップ作成事業

事業概要	東南海・南海地震による津波を想定した防災マップを作成、各世帯に配布し、災害時に備える。また、豪雨・地震等による河川の増水、土砂崩れ、津波災害が起きた時の避難場所と避難方法、山崩れ、地滑り危険箇所を住民に周知徹底させる。 海拔5mラインの測量と標柱の設置、自治体指定避難場所の標高明示マップの作成配布(次年度)
事業費	28,643円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・海拔5mの標識を立てることで、「安全ライン」を住民に意識させることができるようになった。 ・今年度の取り組みを生かし、次年度中に防災マップを完成させてほしい。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 子育て支援事業

事業概要	地域のおばあちゃんが育児経験を生かし、交流を通して、若い世代の子育て支援を行う。 地域のおばちゃん事業(子守りなど)の実施
事業費	110,516円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・子育てを通して、世代を越えた交流が図られている。 ・広報・周知にも工夫を凝らし、参加者を増やしてほしい。 ・継続して活動していただきたい。

##### 高齢者とのふれあい事業

事業概要	地域内に住む高齢者、施設利用の高齢者、施設入所の高齢者と子どもとの交流を行う。また、地域行事への参加を通して、子どもたちの地域文化を学び、人を思いやる心、感謝の気持ちを育て、お年寄りには子どもたちの元気を届けることを目的とする。 お年寄りと保育園児との交流会 お年寄りの保育園訪問 園児の介護施設訪問
事業費	19,403円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・介護施設職員や利用者、児童民生委員、婦人会などとの連携が図られている。

(ウ) 環境に係る事業

環境マップ事業

事業概要	地域の環境に関する地図を作成し、地区の自然を愛する心を養う。また、地域の名所旧跡を再確認し皆でまちづくりに参加し子供達に話し伝える。 地域の名所、旧跡めぐり 環境マップ作成 地域の名所旧跡を示す看板等の設置 危険箇所、知られていない観光地などの調査
事業費	10,096円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民が地域の歴史を知り、地域への自覚が高まっている。 ・観光客（地域外住民）にも役立つマップ作成にも取り組んでほしい。

木花地区の駅環境整備事業

事業概要	木花地区の3駅（木花駅、曾山寺駅、子供の国駅）の整備清掃作業を通じて、地域の青少年が地元を愛する心をはぐくむ。また、駅舎の清掃、自転車整理等を行い、3駅周辺の環境を整える。 駅の整備清掃作業
事業費	23,042円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・小中学生やその保護者、学校関係者の参加が増えていることから、世代間の交流も生まれている。 ・駅が明るくきれいになることで、憩いの場としても活用されている。

(エ) 地域再生に係る事業

里山再生事業

事業概要	木花台公園周辺を里山として整備し、地元住民の憩いの場を広げることにより、地域の活性化を図る。また、住民の憩いの場、交流の場にするため自分たちで汗水を流し良い環境にしていく。 遊歩道整備、草刈、杉伐採、植栽（山桜10本）
事業費	68,394円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自分たちの手で憩いの空間を作ることの達成感と、作業を通して世代間の交流ができています。

(オ) その他の事業

まちづくり体育祭事業

事業概要	地域住民が「体力、親睦、まちづくり」を合言葉に、幼児から青少年、女性、高齢者に至るまで、約3,000人がプログラムの下に集い、競技だけでなく各団体の表現・発表のスポーツの祭典としてまちづくりを推進する。 体育祭の開催【雨天、新型インフルエンザのため中止】
事業費	354,619円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・雨で中止にはなったが、応援練習等を通して地区住民の結束と交流が図られている。

### 青少年の健全育成事業

事業概要	小学校、スポーツ少年団、子供会育成会を中心に、活動・発表・郷土を知ろう運動を起こし、郷土に生きる喜びとその育成を図る。 木花巡回バスによる地域めぐり、自然休養センターの見学
事業費	43,935円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・木花にある3校の小学校の児童同士の交流が深まっている。

### 郷土芸能、歌、踊り、文化財、短歌歌集の作成事業

事業概要	各地区に残る郷土の芸能、民俗、文化財等の調査、復活に取り組む。 郷土の風景を詠った短歌とその写真の編集・展示
事業費	7,850円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・長期間展示することで、多くの地域住民が見学できている。

### まちづくり推進委員会運営事業

事業概要	木花地域まちづくり推進委員会を円滑に運営する。 まちづくり広報や各種チラシの発行など
事業費	511,165円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・部会間、まちづくり推進委員会、地域協議会との橋渡しができ、連携がスムーズにできている。

## イ 地域別評価

地域の既存団体が把握している地域ニーズを有効に活用している。

個別の事業を見ると、「木花地区の駅環境整備事業」では学校関係者や学生などの参加者が徐々に増えるなど、活動の和が広がっている。地道ではあるが、地域に必要な活動は地域に確実に浸透していくという好例である。

今後は、地域内の名所や自然、大学などの豊富な地域資源を有効に活用してまちづくりを進められることが期待できる。



木花地区の駅環境整備事業



高齢者とのふれあい事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	12,283人
世帯数	5,577世帯
面積	65.31km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	木花小学校、鏡州小学校、学園木花台小学校、木花中学校
事務所	木花地域センター（大字熊野591番地）



## (12) 青島地域自治区(青島地域まちづくり推進委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

子どもから高齢者まで、安心して暮らせる住みよいまちづくり

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 地域防犯活動推進事業

事業概要	内海駐在所が廃止され、防犯面の手薄な内海地区での犯罪も起こっている状況からパトロール隊を結成し、犯罪のない住みよい地域づくりを目指す。また、地域内に設置してある防犯灯の維持管理を行う。 パトロールの実施 防犯灯電気料の支払い
事業費	620,153円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・定期的にパトロールを実施することにより、地域住民からの信頼が深まっている。 ・警察や交通安全協会との連携が図られている。

##### 地域防災活動推進事業

事業概要	防災対策として、地域の主な場所に海拔表示を設置し、津波等災害発生時における地域住民の避難誘導や救助活動等を円滑に行うために、繰り返し訓練を行い、日頃からの防災対策につとめる。また、ボランティア名簿の整備を行う。 海拔標柱設置 津波防災訓練 ボランティアの登録
事業費	50,665円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。 ・多くの地域住民が参加しており、災害に対する意識も高まっている。

##### 災害時対応積立金事業

事業概要	台風や地震災害に備え、基金の積立を行い、災害時の復興活動費として活用する。 基金の積立
事業費	100,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・計画的に進めてもらいたい。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 三世代交流事業

事業概要	社会情勢の変化により、失われつつある伝統活動を、青島・内海合同の三世代交流を通し、継承を図る。 昔の遊び道具の制作やもちつき
事業費	92,597円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・三世代交流を通して、世代を超えた地域の連帯感が生まれている。

### 児童等の健全育成事業

事業概要	予期せぬ事件・事故や非行から児童等を守り、全育成を推進するために、小・中学校の登・下校時やイベント開催時等の見守り活動を展開し、あいさつ運動の推進を図る。 見守り活動の実施
事業費	11,112円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民と子どもとの間に信頼関係が生まれ、子どもの健全育成に役立っている。

### (ウ) 地域再生に係る事業

#### 城山公園を元気にする事業

事業概要	城山公園の清掃や植栽等を進めながら、地域の方々の憩いの場に再整備することを目的とする。 城山公園の整備
事業費	214,153円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。 ・整備を進めていくうちに様々な意見が出るようになるなど、公園に対する愛着が生まれている。

### (エ) その他の事業

#### 地域スポーツ推進事業

事業概要	地域的に分散している青島・内海・野島・小内海の住民の交流を図るとともに、明るく健康な地域づくりを進めるために、子どもから高齢者まで参加できるスポーツ大会を開催する。 ウォーキング大会の開催
事業費	164,900円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・PTAと連携し、小中学生の参加を促している。 ・地域間の交流が図られている。

#### まちづくり推進委員会運営事業

事業概要	住民主体のまちづくりを進めるために、地域における問題点の把握やその解決に向けた検討を行うとともに、広報活動を通じて、地域住民のまちづくり意識の醸成を図る。 各種会議の開催 研修会の開催（委員及び各種団体会議） 広報紙やチラシの発行
事業費	372,612円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・事務局が中心となって、円滑に運営を進めている。

## イ 地域別評価

「城山公園を元気にする事業」では、城山というひとつの山に地域住民が集まることで、地域の一体化につながっている。効果が目に見えることから、モチベーションもあがるのではないかと。地域のシンボルとなるよう進めていかれることを期待したい。

また、まちづくりの活動とPTAとの連携が進んでいる。親の参加も促しながら、地域まちづくり推進委員会の活性化にもつなげてほしい。

地域自治区の仕組みのもとで活動の参加者が増えていることは重要な成果である。



城山公園を元気にする事業



三世代交流事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	3,932人
世帯数	1,967世帯
面積	43.32km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	青島小学校、内海小学校、青島中学校
事務所	青島地域センター（青島4丁目6番16号）

## (13) 住吉地域自治区(住吉地域まちづくり推進委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

「ずっと ずうっと 住み続けたいまち 住吉」を基本とした、

安心して暮らせるまちづくり

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 地域防災訓練事業

事業概要	防災訓練を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。 防災訓練の実施
事業費	33,242円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・市消防局や消防分団、自治会などとの連携が図られ、効果的に訓練が進められている。

##### 防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	1,178,400円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 子育て支援事業

事業概要	未就学児のいる世帯を支援し、子どもを育てることに意欲を持たせる。 すみよし子育てフェスタ2009の開催 子育て支援便利帳inすみよしの作成・配布
事業費	174,418円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・未就学児のいる世帯のニーズに沿った事業で、親子が楽しみながら参加できるよう工夫されている。

##### 地域福祉ネットワーク事業

事業概要	近隣の支え合いにもとづく隣近所の底力アップをねらい、住みよい住吉地域のまちづくりを進める。 地域の結びつきの意識を啓発する原稿を募集し、「住吉まちづくりだより」の誌面に掲載する。
事業費	23,130円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民に原稿を依頼するなど、親しみやすくする工夫を凝らしている。

(ウ) 環境に係る事業

里山保全事業

事業概要	昔から住吉地区の憩いの場として親しまれていた住吉小学校西側の山を里山として再生し、保全を図る。 里山の整備
事業費	885,431円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・関連団体との連携が図られている。 ・憩いの場として再生されるよう、引き続き取り組んでもらいたい。

ホタルの里整備事業

事業概要	ホタルを育成し、毎年ホタル祭りを開催している極楽寺地区で、危険防止のために遊歩道等の整備を図る。 遊歩道等の整備
事業費	188,340円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・多くの地区住民の協力が得られている。 ・地区の子どもにホタルの勉強会を行うなど、環境保全への関心も深まっている。

(エ) 地域再生に係る事業

伝統芸能保存事業

事業概要	地域固有の文化・地域に伝承されている郷土芸能の育成、保存を図る。 伝統芸能保存事業「住吉神楽の集い」の開催
事業費	367,885円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域内の4つの神楽保存会の連携意識が高まっている。 ・地域内の神楽を一堂に観賞できる機会を設け、効果的に伝統芸能の継承に取り組んでいる。

住吉地区男女共同参画事業

事業概要	男女が性別にかかわらず、平等に個性や能力が発揮できる社会を築くための意識の高揚を図る。 男女共同参画に関する講座の開催
事業費	29,204円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・住吉地区男女共同参画実行委員会や自治会などの関連団体との連携が図られている。 ・参加型の講座としたことで、活発な意見交換が行われ、効果的に進められている。

(オ) その他の事業

地域まちづくり推進委員会の広報誌発行事業

事業概要	地域住民に地域まちづくり推進委員会の活動状況等を理解してもらうために広報誌を発行する。 広報誌の発行
事業費	266,798円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・活動の周知や報告、ボランティア募集を行うなどして、住民の参加を促している。 ・広報誌の編集では、専門家の助言を得たり、若い人の投稿を増やそうと意識したり、意欲的な誌面づくりを心がけている。

地域まちづくり推進委員会運営事業

事業概要	住民主体のまちづくりの実現のため、地域への広報活動や各部会の会議の開催など、地域まちづくり推進委員会の円滑な運営を行う。 各種会議の開催 事業報告会の開催 各種事務 ほか
事業費	189,291円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・委員会の運営が効率的、効果的に進められている。

ITを活用した情報発信事業

事業概要	地域での活動や身近な生活情報を発信するとともに、さまざまな情報を交換することによって、地域の活性化や地域づくりに役立てる。 ホームページの開設
事業費	324,450円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・効果的に広報に取り組んでいる。さらに内容の充実を図ってほしい。

## イ 地域別評価

まちづくりの活動に女性の視点が加わると、新しいことに取り組むことができる。その意識を醸成させるための事業を行うのであれば、まずは多くの参加者を募ることが必要になる。「住吉地区男女共同参画事業」では講座を夜に開催するなど、参加しやすい工夫を取り入れている。

また、「子育て支援事業」の『すみよし子育てフェスタ2009』では、参加する側の子育て世代を、ボランティアとして運営側にもうまく取り込んでいる。

今後も、地域住民の参加、参画を効果的に促しながらまちづくりを進めてもらいたい。



子育て支援事業



ホタルの里整備事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	20,934人
世帯数	8,812世帯
面積	26.70km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	住吉小学校、住吉南小学校、住吉中学校
事務所	住吉地域センター（大字島之内7409番地1）

## (14) 生目地域自治区(生目地区振興会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

「地域住民が安心して暮らせる・・・伸びゆくまちづくり・・・」

- 1) 伝統ある歴史文化の保存・継承
- 2) 良好な生活、自然環境の保全
- 3) 産業・経済の発展
- 4) 生活福祉の向上

### ア 事業別評価

(ア) 防犯・防災に係る事業

#### 地域防災事業

事業概要	防災の基本訓練を行うことで意識を高め、地域住民の安全安心なまちづくりを行う。 図上訓練の実施 総合防災訓練の実施
事業費	198,572円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・消防署や消防団、NPOと連携することで、より専門性の高い事業内容となっている。 ・毎年9月の第1日曜日を「防災の日」として訓練を行うことにより、地域住民の意識も高まっている。

#### 生目っ子見守り事業

事業概要	地域の子どもは地域で見守ることにより、子どもたちが安全安心な住みよいまちづくりを行う。 見守り活動の実施
事業費	109,494円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・事業の充実のために、さらに地域住民の協力を促してほしい。 ・ユニフォームを作ることで、子どもからも認識されるようになっている。

#### 防犯パトロール事業

事業概要	防犯パトロールを行うことによって地域の安全を守る。 防犯パトロールの実施
事業費	126,671円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・年間を通して不審者の出現もなく、パトロールの効果が出ている。

#### 防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	686,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。



### 災害時対応積立事業

事業概要	災害時に緊急事態に備えるため毎年積立金を設定する。 基金の積立
事業費	100,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・計画的に進めてほしい。

### (イ) 地域福祉に係る事業

#### 地域福祉推進事業

事業概要	要援護者を地域ぐるみで支え、楽しく、安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、区内の高齢者・障害者が積極的に外出する機会を少しでも増やし、引きこもりを防止する。 バリアフリーマップの作成及び配付
事業費	250,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・今後も関連団体とも連携を図りながら、事業を進めてもらいたい。

### (ウ) 地域再生に係る事業

#### 里神楽フェスティバル事業

事業概要	生目地区各神社に伝わる神楽を一堂に結集して区内外の人々に披露することにより、人々の交流を深めるとともに、衰退の傾向にある伝統文化としての神楽を次世代へ継承し、生目地区の活性化につなげる。 里神楽フェスティバルの開催
事業費	336,680円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民が神楽を通して一堂に会することで、伝統文化による地域の活性化が図られている。

### ふるさと祭り事業

事業概要	生目地区住民の親交・交流を深めるとともに、地区の発展と振興を願い、さらに将来の担い手となる子ども達に、ふるさとの素晴らしさ、地域住民の交流の楽しさ、喜び等を再認識させ、社会人になってもその感動を忘れず、時代の振興発展の貢献者となることを念願し、生目地区の活性化を図る。 ふるさと祭りの広報活動
事業費	121,779円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・チラシを新聞折込で配布するなど、効果的な広報活動が図られている。

### (エ) その他の事業

#### 事務管理運営事業

事業概要	生目地区振興会の円滑な管理運営、地域づくりの活性化及び情報発信や収集等を行うことを目的とする。 生目地区振興会の管理運営 広報活動
事業費	709,794円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・ホームページを開設するなど、効果的な広報に取り組んでいる。今後も内容の充実等を図ってもらいたい。

### スポレク育成事業

事業概要	各種スポーツの中から種目を選択し、地域住民の体力の維持と向上を図りながら地域交流の和を広げてまちづくりを行う。 各種スポレクの実施
事業費	113,284円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の健康づくり事業として効果的な取り組みである。

### 生き生き農園田植え学習事業

事業概要	生目小学校の子どもたちに、地域の産業の移り変わりや地産地消への理解などを机上だけではなく、実際に体験して学んでもらう。また、田植え実習を通し、農業の体験を行う。 田植え体験の実施
事業費	40,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・NPOと連携し、効率的に進められている。 ・地域の産業や歴史との関わりなどの事前学習を行うなど、総合学習として効果的な取り組みである。

### 地域と児童交流事業

事業概要	生目小学校の子どもたちと生目地区住民との交流を図り、地域で地域の子どもを育てる機運を高める。見守り隊として生目小学校の登下校の安全確保に努めている老人会をはじめ各団体との交流を深め、地域理解を進めるとともに地域を愛する心情を育てる。 交流事業の実施【新型インフルエンザのため中止】
事業費	30,660円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・準備段階から関連団体との連携が図られている。

## イ 地域別評価

平成17年の台風14号での水害を機に、防災に力を入れることで、地域にまとまりができています。

また、「生き生き農園田植え学習事業」では、田植え体験を行うなど、児童に対する事業にも積極的に取り組んでいる。

今後は、単年度事業のみならず継続的な事業にも取り組む意欲を持っており、地域活動の飛躍につながることを期待したい。



生き活き農園田植え学習事業



里神楽フェスティバル事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	11,494人
世帯数	4,988世帯
面積	34.28km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	生目小学校、生目中学校、生目南中学校
事務所	生目地域センター（大字浮田3153番地1）

## (15) 北地域自治区(北地区振興会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

明るくすみよいまちづくり

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 防犯灯維持管理事業

事業概要	防犯灯の維持管理を行う。 防犯灯電気料の支払い
事業費	590,442円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公共性の高い防犯灯の維持管理を行うことで、安全安心なまちづくりが進められている。

##### 総合防災訓練事業

事業概要	大規模地震等の発生時における自主防災としての避難、救助、消火等の実践的訓練を行い住民の防災意識の高揚と連携の強化を図る。 防災訓練の実施
事業費	236,088円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・家屋倒壊救出訓練、煙中での避難訓練、災害時のヘリコプター救助訓練など、日頃あまり体験できない訓練を取り入れることで、住民の防災についての関心・意欲を高めている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 北地区高齢者ふれあい会食会事業

事業概要	北地区社会福祉協議会と共催し、北地区の75歳以上の高齢者や65歳以上の一人暮らしの方が一堂に集い、会食しながらふれあい交流を深め、意見交換を行う。 ふれあい会食会の実施
事業費	140,182円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・健康指導の場もあり、高齢化福祉の増進が図られている。

##### 福祉団体県内研修事業

事業概要	北地区社会福祉協議会と連携し、民生児童委員、福祉協力員、福祉ボランティアなど、福祉関係者及び一般の希望者を含め、県内福祉先進地で視察研修を行い意見交換をして福祉のまちづくりに資する。 福祉視察研修の実施(日向市東郷町社会福祉協議会)
事業費	211,460円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・公民館やスーパー、商店などで参加募集チラシを配布するなどの工夫が見られる。 ・他地域の高齢者の見守りなどの実情を、まちづくりの参考にできている。

#### 北地区要援護者及び福祉マップ作成事業

事業概要	地域の見守りに努め、子ども、高齢者、障害のある人などの安全・安心を確保する。また、地域で防災体制を備えるため、目が届くような組織づくりを進める。 80歳以上の高齢者及び障害者の調査 マップの作成
事業費	104,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・個別調査を行うことで、住民や個人のニーズに合った対応が可能となっている。

#### (ウ) その他の事業

##### 主要団体県内研修事業

事業概要	北地区振興会（地域まちづくり推進委員会）及び地域住民を対象にまちづくり先進地を視察し、まちづくりの実践を学び意見の交換を通して、北地区のこれからのまちづくりの在り方についての参考に資する。 視察研修の実施（鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館）
事業費	122,900円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域再生の機運が高められている。

##### イルミネーションガーデン設置事業

事業概要	北地区の中心部に子ども達のアイデアを生かした標語、イラスト等のイルミネーションを設置し、子どもから大人までの世代間のふれあいの場と地域の賑わいの活性化を図る。 イルミネーションの設置
事業費	222,406円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・小学生から標語などを募集して、イルミネーションに生かしたことで、子どもから大人まで多くの人が訪れ、地域の交流が図られている。

##### 北地区歴史文化伝承事業

事業概要	北地区の小中学生を対象に北地区の歴史、文化財及び自然を見聞する場を提供し、多くの子どもたちがふるさとに親しみ、ふるさとを愛する気持ちを育てる。 小型バスによる現地研修の実施
事業費	139,580円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の貴重な文化財等にふれることにより、子どもたちの郷土愛が育まれている。

##### ウォークラリー大会事業

事業概要	北地区に沿って流れる県内一の大淀川と支流の本庄川。このふるさとの川の堤防沿いを歩き、早春の自然や空気を肌に感じながら、健康づくりと世代間の交流を図る。また、道沿いのゴミ拾いを行い、地域の環境美化に努める。 ウォークラリー大会の開催
事業費	26,551円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・幼児、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の多くの参加があり、世代間の交流が図られている。

### 北地区民俗芸能伝承事業

事業概要	北地区内に継承されている伝統芸能を発表することにより、地域の伝統芸能、文化の活性化や魅力あるまちづくりを推進し、地域住民の交流と郷土愛を育む。 北地区民俗芸能フェスティバルの開催
事業費	134,562円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・関心や期待度も大きく、多くの地域住民が参観している。 ・今後は若者の参加を促す取り組みも進めてほしい。

### 北地区振興会（まちづくり推進委員会）運営事業

事業概要	地域への広報活動や各部会の会議を開催し、北地区振興会（まちづくり推進委員会）の円滑な運営を行う。 北地区振興会（まちづくり推進委員会）だよりの作成 必要物品の整備 など
事業費	138,447円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・定期的な情報発信により、事業の周知が図られている。

## イ 地域別評価

地域の既存事業との兼ね合いから、新規事業の立ち上げが難しい状況ながら、地区社会福祉協議会等と連携して、事業を進められている。

中でも、「北地区要援護者及び福祉マップ作成事業」は、災害時に地域で要援護者を守ろうとする具体的かつ有効な取り組みの好例である。



総合防災訓練事業



北地区民俗芸能伝承事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	6,967人
世帯数	2,891世帯
面積	27.52km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	瓜生野小学校、倉岡小学校、宮崎北中学校
事務所	北地域センター（大字瓜生野3909番地40）

**(16) 佐土原町合併特例区(小学校区ごとの5つの地域づくり協議会)**

**(16)-1 佐土原小学校区地域づくり協議会**

**まちづくりの活動方針(テーマ)**

歴史と文化を愛し 共に支えあう 元気なまち「さどわら」

～自主・自立(自律)、協働のまちづくり～

**ア 事業別評価**

(ア) 防犯・防災に係る事業

地区別防災訓練事業

事業概要	地域住民一人ひとりの災害に対する意識の高揚を図る。 防災訓練の実施(初期消火・ロープ・応急手当・AED・炊出し訓練など)
事業費	70,195円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会や消防団等との連携が図られている。

子ども見守り隊事業

事業概要	下校時に見守り活動を行い、児童の安全を図る。 交通誘導、下校時見守り活動
事業費	19,767円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・下校時間の通知があるなど、小学校と連携して効率的に取り組んでいる。

(イ) 地域福祉に係る事業

高齢者世帯への奉仕事業

事業概要	一人暮らし高齢者を訪問し、心の交流を図る。 民生委員や福祉協力員などの協力を得て、65歳以上の一人暮らし高齢者宅を訪問する。
事業費	17,824円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・訪問時に地域づくり協議会への要望や意見を聞き取り、次の事業へつなげている。 ・民生委員との連携が図られている。

(ウ) 環境に係る事業

里山保全事業

事業概要	宝塔山公園の維持管理に協力し、草刈り、清掃などを実施する。宝塔山愛護会と共働で実施しており、一般市民の参加も呼び掛ける。 草刈り、ゴミ拾い、伐採など
事業費	54,975円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自分たちで綺麗にしたという思いから、宝塔山公園に愛着を持つ人が増えている。 ・愛護会との連携が図られている。

(エ) その他の事業

健康づくりに関する事業

事業概要	正しい歩き方を身につけ、自分の体力に合わせて歩くことで健康増進を図る。 おはようウォーキング 宝塔山桜祭りウォーキング大会 おすすめウォーキングコース紹介図作成
事業費	51,458円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・ウォーキングで伝統文化財を巡ることで、健康増進と同時に地域の歴史や文化に触れることができている。

広報事業

事業概要	各部の活動を伝え、佐土原小学校区地域づくり協議会の活動方針を的確に伝えていく。 行事予告・報告・お知らせ等
事業費	252,800円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体や地区の紹介も行うことで、地域参画の仕組みができるよう工夫している。

佐土原祭り活性化事業

事業概要	佐土原の祭りを活性化させる。 花菖蒲まつり ポスター作成、農産物販売など 佐土原夏祭り ポスター作成、景品など 巨田神楽 ポスター作成、巨田神社マップ作成など 宝塔山桜祭り ポスター作成、景品、豚汁作りなど
事業費	126,246円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・関係団体や各実行委員会との連携が図られてる。

伝統文化伝承事業

事業概要	地域に伝承されている有形・無形文化財の保護活用に資する。 「えれこっちゃんみやざき」参加 歴史探訪バスツアー 子ども獅子舞装束整備 研修視察 木城町史跡(新納院 下鶴 宗麟原供養塔他)
事業費	248,641円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・関連団体との連携が図られている。 ・バスツアーでは、小学生と高齢者のふれあいの場にもなっている。



### 学校との連携に関する事業

事業概要	青少年の健全育成を図る。 おめでとう新1年生大会 (合唱、安全を守る人の紹介、ビンゴゲームなど) 読み聞かせ活動 こども駅伝大会 地域づくり協議会と子ども会の共催事業 佐中校区子ども会ウォークラリー大会(PTAとの共催事業)
事業費	141,086円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・学校や関連団体との連携が図られている。 ・ウォークラリー大会では、中学生が中心に企画運営するなど、住民が参画しやすいよう工夫している。

### 地域スポーツ推進事業

事業概要	連帯意識の高揚と健康な体作りを目指して、明るい地域づくりを図る。 ふれあいミニバレーボール大会 グラウンドゴルフ大会
事業費	137,678円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・グラウンドゴルフ大会では、小・中学生が参加することで、三世代交流も図られている。

## イ 地域別評価

佐土原城址を中心とした地域資源、伝統文化を有効に活用しながら事業を進められている。そして、地域の歴史を知らない地域住民を意識しながら歴史の掘り起こしを行うことで、地域おこしに取り組んでいる。

また、子どもを中心とした事業にも積極的に取り組んでおり、まちづくりがさらに広がることが期待される。



伝統文化伝承事業



里山保全事業

## (16)-2 那珂小学校区地域づくり協議会

### まちづくりの活動方針(テーマ)

地域住民自らが地域住民のための住みよい地域社会を築く

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 見守り事業

事業概要	地域住民が安心して暮らせる安全なまちづくりのため、団体間の交流も図りながら、地域全体で見守り・防犯意識の高揚を図る。 児童の下校時の見守りパトロール活動 防犯パトロール活動(青色回転灯装着車) 青色回転灯講習会
事業費	216,779円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・老人クラブやPTAなどの関連団体との連携が図られている。

##### 防災訓練事業

事業概要	防災訓練等を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。 防災訓練の実施
事業費	115,549円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会など関連団体との連携が図られている。 ・自治会ごとに要援護者を設定するなど、自治会が参加しやすい工夫をしている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### きれいな町づくり看板設置事業

事業概要	ごみのポイ捨てや犬のフンなどで、地域の環境が悪化しているため、環境(地域)をきれいにする意識の高揚を図る。 啓発看板の製作 など
事業費	113,400円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・環境美化意識が高まっている。

##### 石崎川ふれあい公園 花いっぱい事業

事業概要	地元の公園として意識付けをしていくために、公園愛護協会を立ち上げ、四季の花々を植栽し、いこいの場を提供していく。 定期的な施設管理(遊具、トイレ等) 公園整備 石崎川ふれあい公園愛護協会の設立
事業費	52,181円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の公園として位置づけ、地域住民で整備していくことにより、散歩やレクリエーション、校外授業など、様々な活用がされるようになっている。

(ウ) 地域再生に係る事業

昔の遊び道具づくり事業

事業概要	現代の子どもは遊び道具を自分で作らなくなっている。作って遊ぶ楽しさを、高齢者の指導で伝えていく。 昔の遊び道具作り体験
事業費	37,910円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・学校との連携が図られている。 ・高齢者から子どもへと、次の世代へ昔の遊び方を伝えていくことができている。

那珂まつり事業

事業概要	地域住民が一体となって、地域の伝統行事等で交流を深める。 ステージ発表～那珂小児童、那珂保育所園児、子どもヒップホップ、演奏等 玉入れ大会～地区・団体の部、子どもの部 フリーマーケット 模擬店 抽選会
事業費	593,107円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域団体を主とした住民参加型の祭りを行っている。

佐中校区子ども会ウォークラリー大会事業

事業概要	佐土原中学校区に点在する史跡などを巡りながら、小・中学生の交流を図る。 ウォークラリー大会の実施
事業費	25,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・学校や子ども会との連携が図られている。 ・地域の歴史や文化に触れながら交流を図る工夫がされている。

(エ) その他の事業

ミニバレーボール大会事業

事業概要	地区内での交流機会が減少しているため、小学生から高齢者まで取り組める競技を行うことで親睦を深める。 ミニバレーボール大会の実施
事業費	42,336円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会との連携が図られている。 ・小学生から参加することで、世代間の交流が図られている。

玉入れ競技大会事業

事業概要	だれでも楽しめる競技を通じて親睦を深める。 玉入れ競技大会の実施
事業費	34,589円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地元企業も参加するなど、地域の交流が図られている。

## イ 地域別評価

小中学校と連携し、効果的に事業を進めている。

各事業とも参加人数が多く、子どもとその親の参加が多くなっている。中でも、『那珂まつり事業』は1,000人も地域住民が参加し、地域の一体性を保つための有用な事業の一つとなっている。



那珂まつり事業



昔の遊び道具づくり事業

## (16)-3 広瀬小学校区地域づくり協議会

### まちづくりの活動方針（テーマ）

地域住民自らが行動し、

相互の協力と連携により住みよい「安全・安心のまちづくり」を目指す。

～声かけて みんなでつくろう 安全と安心のまち～

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 安全・安心のまちづくり推進事業

事業概要	自然災害などを含め「自主防災意識の向上」、また地域の事件・事故などを未然に防止する「防犯意識の向上」を図り、安全・安心の地域社会づくりに努める。 防災訓練の実施 みまもり・防犯活動の推進
事業費	112,909円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・消防局、応急手当研修センター、消防団、老人クラブなど関連団体との連携が図られている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 子育て・高齢者・障害者支援事業

事業概要	少子化傾向のなか「地域の子どもは地域で育てる」を基本として、安心して子育てのできる地域づくり。また高齢者や障害者の災害時などの不安を解消し、安心して暮らせるまちづくりを目指す。 広瀬小学校参観日(平成21年度は10回)の校内での託児 災害時要援護者「見届けマップ」の更新(見直し)
事業費	149,886円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会、民生委員との連携が図られている。 ・学校、PTAと連携して広報を行うなど、保護者とのコミュニケーションが図られている。

##### 健康増進活動推進事業

事業概要	“自らできることは自分で”を基本に、その範囲で「自前健康教室」などでの健康増進、また“身体を動かす”という観点で地域にある伝統の踊りなどを取り入れ健康増進を実践し、元気なまちを目指す。 自前健康教室指導者育成研修 「広瀬音頭」指導者育成 「広瀬音頭」普及による健康増進事業 「広瀬音頭」CD化
事業費	81,054円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会や老人クラブ、舞踊・民謡団体との連携が図られている。

(ウ) 環境に係る事業

環境保全活動推進事業

事業概要	低炭素社会づくりに向けた社会情勢のなかで、自然環境保護の意識を向上し自然を愛する心、ものを大切にする心を醸成することにより、循環型社会を目指す。 石崎川周辺・校区内海岸(アカミガメ産卵地)の清掃 EM発酵液による浄化活動とエコバッグ利用の推進
事業費	80,294円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・身近な環境問題に取り組むことで、地域を考える好機にもなっている。 ・自治会や小中学校、地元スーパーなどとの連携が図られている。

(エ) 地域再生に係る事業

まちづくり中長期プラン策定事業

事業概要	「佐土原ゆめのまちづくりプラン」の具体化を目指し、中長期的展望にたった「オリジナルプラン」を策定する。 「オリジナルプラン」の策定
事業費	23,026円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・住民アンケートの結果をもとに、プランの策定を進めている。

自治会加入促進事業

事業概要	子育て、高齢・障害者支援、また自然災害時の対応など、子どもから高齢者まで地域での安全・安心は“住民相互のコミュニケーションが大切である”ことなどをPRし、自治会加入を促し、地域の活性化につなげる。 自治会へ加入状況などのアンケート調査 自治会代表者などによる、自治会加入状況と加入促進についての研究協議 加入促進チラシなどの配布 自治会加入状況調査視察【鹿児島県伊集院市(伊集院地域)】
事業費	80,761円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・アンケートやヒアリングを行うなど、自治会との連携が図られている。

文化・芸能活性化推進事業

事業概要	地域の伝統文化を絶やすことなく継承し、良き文化をつなぐ基礎とする。 また新しい文化にも目を向けてその活動を支援し、地域の活性化につなげていく。 地区伝統の盆踊りなどの保存支援と披露機会の提供 活動の発表機会の提供 いずれも盆踊り大会、元気げんき祭りなどを活用
事業費	46,730円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・盆踊り大会や元気げんき祭りとの連携が図られている。

### ふるさと再発見事業

事業概要	高齢化が進む中、各地域の長老の方々から地域の成り立ちなどを聞き取り、地域文化を大切にする心を醸成する。また「ふるさと学習」で学んだ偉人を後世に伝えていく活動を通して地域の活性化を図る。 地域の成り立ちの聞き取りまとめ 冊子まとめ 「啓次郎かるた大会」の実施
事業費	94,005円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・資料の掘り起こしなど、さらに工夫をして進めてほしい。

### まちおこし活性化塾推進事業

事業概要	「まちおこし活性化塾」を通して、地域発展のあり方を検討し“新たなまちづくり”を模索し、真のまちおこしにつなげて地域の活性化を図る。 校区内の新たな“まちおこしのヒント（石崎川、ふれあいの森、大炊田海岸など）”の調査研究
事業費	25,538円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民の意識改革につながっている。

### まちおこし自主財源確保推進事業

事業概要	自助による地域発展には財源が必須であり、自主財源確保について検討し「新たなまちづくり」につなげ、地域発展と活性化を目指す。 自主財源確保策についての調査研究 薩摩川内市大馬越地区コミュニティ協議会への研修視察
事業費	115,438円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・新たなまちづくりの方策に期待が持てる事業である。

### (オ) その他の事業

#### 広報・啓発促進事業

事業概要	住民総参画のまちづくりを推進するため、双方向の情報共有を図るとともに、各事業評価（事業実施後のアンケート調査など）を生かした事業の改善を行う。 広報「ひろせ」発行（年4回）、事務局だより（随時） ホームページの更新、改善など 各事業の評価（アンケート調査などによる）
事業費	289,005円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・商工会情報など、地域情報にも工夫が見られる。

#### 三世代交流促進事業

事業概要	祖父母、親、子どもが一堂に会して料理、お菓子づくりなどを通して家庭（家族）の大切さを、また相互のふれあいで心の交流を図る。 おばあちゃん世代の指導によるお菓子・料理づくりと試食会
事業費	30,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・放課後子ども教室との連携が図られている。

#### 第4回「新春書初め大会」事業

事業概要	書道を通して一堂に会し、子どもたちにはその意義を伝え情操教育の一環とし、また地域コミュニティについても関心を持ってもらうことにより、地域活性化につなげていく。 書初め大会の実施
事業費	86,101円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・他の地域づくり協議会との連携が図られている。

#### 地域交流ふれあい事業

事業概要	地域に伝わる伝統文化「盆踊り」を次代へ伝えていく。また地域住民が一堂に会し、スポーツやゲームへの参加、また、芸能発表などを通して地域の良さを子どもたちの思い出として次代へつなげ、地域活性化の機運とする。 どろんこスポーツ、盆踊り、芸能発表、出店などの実施 【荒天のため中止】
事業費	112,126円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・小中学校や自治会と連携を図りながら進めている。

#### 協議会設立記念事業

事業概要	地域づくり協議会設立の原点にかえり、地域の方が一堂に会し、その意義を確認しあうと共に、スポーツやゲームを通して一体感、親近感を深め一層の「新たなまちづくり」へ向けた地域発展と活性化の機運とする。 玉入れ競技大会、ミニバレー大会、お楽しみ抽選会、出店バザーなど
事業費	311,900円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の一体感を醸成する機会となっている。 ・小中学校、自治会との連携が図られている。

### イ 地域別評価

子どもを中心とした事業に積極的に取り組んでいる。

中でも、「環境保全活動推進事業」は、身近な石崎川を通じて、子どもたちが環境を学べるということは効果的な取り組みである。中学生ボランティアやボーイスカウトなど多様な参加者がいることから地域の連携が進んでいることがわかる。



三世代交流促進事業



健康増進活動推進事業



## (16) - 4 広瀬北小学校区地域づくり協議会

### まちづくりの活動方針(テーマ)

住民相互の協力と連帯により地域住民自らが地域住民のための住みよい地域社会を築くために地域の元気と支え合い、安全安心をテーマにまちづくりを進める。

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 安全・安心のまちづくり推進事業

事業概要	子ども見守り活動を支援するために「子ども見守り活動連絡会議」を実施して各地区の取り組みと問題点を確認することで指導体制を整え、年間を通して参加している地域住民に感謝し、活動の継続を願う。さらに、各地区の防災組織の改善と組織強化を期して防災体制づくりを支援し、安全・安心のまちづくりを進める。 見まもり活動推進連絡会議の開催 見守りありがとう集会 地域防犯・防災研修会 見守りありがとう集会
事業費	126,628円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・関係団体との連携が図られている。 ・幅広く広報活動が図られている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 子育て支援事業

事業概要	学校のPTAと連携して事業を実施することで、地域の学校を大事にしようとする姿勢を示し、地域で子どもを育てる意識を高める。 郷土玩具「うづら車」絵付け 昔の遊び おじゃみ作りと遊び グラウンド・ゴルフ 神代こま、竹とんぼ、コマ、おじゃみの作り方と遊び体験
事業費	82,542円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・子どもたちの活動を支えることで、住民の意欲が高まっている。 ・PTA、老人クラブ、スポーツ同好会、団体ネットワークなど幅広い連携が図られている。

#### (ウ) 環境に係る事業

##### 環境整備・活用推進事業

事業概要	安全で安心して暮らせる地域づくりを目指す部会として、昨年発足した環境パトロール隊を中心に地域の環境整備と防犯を兼ねて地域の状況を視診し、地域の環境保全と活用を検討する。 ほたるの里づくり現地調査 地域防犯・環境パトロール 地域防犯・環境パトロールと地域環境整備案内板設置
事業費	62,850円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民との連携が図られている。 ・長期的な取り組みということで、今後の取り組みに期待したい。

文化財・環境整備支援事業

事業概要	地域の文化財や生活環境の整備の方向について、地域づくり協議会としての関わりを確かめ、関係機関との連絡会を重ねてこれからのまちづくりを検討する。 合併特例区の環境保全事業打合せ会 一ツ瀬川河口自然環境保全事業に関する説明会及び現地調査 文化財・環境整備に関する調査 宮崎海岸浸食の現状についての学習会
事業費	25,950円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・長期的な取り組みということで、今後の取り組みに期待したい。

(エ) 地域再生に係る事業

ふるさと学習推進事業「ふるさと再発見」

事業概要	校区内の歴史・文化遺産・環境を確かめ、見聞を通してふるさとの良さを知るとともに、地域の文化と環境を大事にする住民意識を高める。 ふるさと学習会 ふるさと親子学習会 ふるさと探訪ウォーキング ふるさと巡りバスツアー
事業費	270,324円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・様々な内容で、多くの住民が参加できるよう工夫されている。

地域の元気と絆を深める事業「ひろきた元気フェスタ」

事業概要	地域住民の趣味や技能の紹介、ステージの発表などで幅広い交流の場を設定し、支え合いと元気と豊かな心を発揮することで、楽しい地域づくりへの意識を高めるとともに、地域の絆を深める。 ひろきた元気フェスタの開催
事業費	392,402円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・学校、スポーツ団体、社会福祉協議会などと幅広い連携が図られている。

(オ) その他の事業

地域紹介・広報事業

事業概要	地域づくり協議会の活動の様子や各地区の状況も具体的に紹介することで情報を共有し、地域住民の連帯意識を強めるとともに、地域に誇りを持ってもらうためにより効果的な広報活動を行う。 広報誌編集研修会 広報誌「ひろきた」発行 ホームページ更新に関する研修会及び作業
事業費	323,211円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・新聞社で研修を受けるなど、積極的な取り組みを進めている。

## スポーツ交流事業

事業概要	みんなが楽しめるふうせんバレーを主競技として多くのニュースポーツが体験できる場を設定して地域住民の交流を図り、元気で楽しめる地域づくりを目指すとともに、地区住民がまとまって運動することで躍動する姿を確かめ合う。 ふうせんバレー&ニュースポーツ大会 地区対抗グラウンド・ゴルフ大会
事業費	131,127円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治会など関連団体との連携が図られている。

## イ 地域別評価

地域の歴史や文化を知ること、後の世代に伝えていくことは重要である。「ふるさと学習推進事業」では、効果的に歴史の学習が進められている。

また、「地域紹介・広報事業」では、新聞社で研修を受けることでしっかりとした技術を身に付けている。より効果的に広報、事業に取り組もうとする姿勢が見られる。



ふるさと学習推進事業「ふるさと再発見」



地域紹介・広報事業

## (16) - 5 広瀬西小学校区地域づくり協議会

### まちづくりの活動方針(テーマ)

住民相互の協力と連帯により、地域住民自らが地域住民のための住みよい地域社会を築く。

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 小学生見守り事業

事業概要	広瀬西小児童の登下校時の安全確保を図る。 児童の下校時の見守り活動 広瀬西小遊歩道や通学路の除草や整備作業
事業費	41,539円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・学校、PTA、民生委員、警察、自治会などと幅広く連携が図られている。

##### 地域防災事業

事業概要	災害時における地域住民の安全確保を図る。 災害図上訓練 普通救命講習会
事業費	72,858円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・消防署や自治会との連携が図られている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 災害時における防災訓練事業

事業概要	災害時における一人暮らしの高齢者等の安否確認を行う。 地震等大きな災害を想定した「防災マップ」による安否確認訓練
事業費	4,357円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・災害時に要援護者を地域で守るという認識ができている。 ・日頃から要援護者の実態把握に努めている。

#### (ウ) 環境に係る事業

##### 校区内の美化活動事業

事業概要	地域内の公園公道などの美化を図る。 地区内の公園公道の美化活動 エコクリーンプラザみやざき見学会の実施
事業費	27,888円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の美化に対する意識が高まっている。

##### 大淀川源流点と富吉浄水場見学事業

事業概要	将来、旧佐土原町域の上水道の水源となる大淀川に関する知識を深める。 大淀川源流点や富吉浄水場の見学
事業費	74,962円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・大淀川に対する関心が高められている。

(エ) 地域再生に係る事業

広瀬西小学校区芸能・文化まつり事業

事業概要	校区内の子どもから高齢者までが楽しめるまつりを開催し、多くの芸能・文化を発掘し、発表や鑑賞の場を提供する。また、校区内住民の交流の場を設ける。 ステージ発表 展示会 バザー（物品、野菜販売、食事コーナー） 非常食試食会 消火器無料診断 茶道・読み聞かせ・工作教室
事業費	389,953円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・学校や自治会、各種芸能団体との連携が図られている。

校区内の伝統文化に関する事業

事業概要	校区内の伝統文化を大切に守り育てる心情を育む。 小冊子「ふるさと昔と今」の発行 平小牧白太鼓踊りに使用する用具の補修
事業費	118,094円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域を取り巻く伝統や文化について知るきっかけとなっている。

(オ) その他の事業

住民に対する広報事業

事業概要	広瀬西小学校区地域づくり協議会並びに地区の行事や活動の広報を行う。 広報誌「つくしんぼう」の発行 ホームページの更新
事業費	263,130円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民に協議会について理解してもらえるよう工夫を図っている。

ウォーキングフェスタ事業

事業概要	校区内の住民の交流と健康づくりを図る。 ウォーキングフェスタの開催
事業費	397,411円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・高齢者も参加しやすいように配慮するなど、多くの地域住民が参加できるような工夫を凝らしている。

地産地消の料理教室事業

事業概要	地産地消のPRと世代間交流を図る。 料理教室の開催
事業費	22,452円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・生産農家との交流が図られるなど、交流の輪が広がっている。

### 「つくって遊ぼう会」による世代間交流事業

事業概要	子どもから高齢者までが集い、簡単な工作をすることにより世代間交流を図る。 「ミニこいのぼり」「ミニ門松」「ひなかざり」の作成
事業費	13,170円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・子ども会、高齢者団体との連携が図られている。 ・季節に応じた工作をすることで、子どもの豊かな心情を育てることにつながっている。

### 実行部会運営事業

事業概要	部会活動を円滑に取り組むための会議、準備を行う。
事業費	23,620円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・住民の手によるまちづくり活動が行われている。

## イ 地域別評価

様々な効果的な事業を展開しているが、中でも「広瀬西小学校区芸能・文化まつり事業」は、地域の豊富な教養文化を十二分に紹介する代表的な事業となっている。

参加者はもちろん、出演者も多く、また、年齢に関係なく多くの地域住民が関わっており、地域の一体化に大きく寄与している。



広瀬西小学校区芸能・文化まつり事業



ウォーキングフェスタ事業

参考：佐土原町合併特例区 地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	34,129人
世帯数	13,740世帯
面積	56.84km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	佐土原小学校、那珂小学校、広瀬小学校、広瀬北小学校、広瀬西小学校、佐土原中学校、広瀬中学校、久峰中学校
事務所	佐土原総合支所（佐土原町下田島20660番地）

## (17) 田野町合併特例区(田野まちづくり協議会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

子どもから高齢者まで安心して暮らせる住みよいまちづくり

### ア 事業別評価

#### (ア) 防犯・防災に係る事業

##### 防犯ネットワーク事業

事業概要	地域住民が安心して暮らせる安全なまちづくりのため、防犯パトロールを通じて、防犯に関する啓発を行い、地域住民の防犯意識の高揚を図る。 防犯パトロールの実施
事業費	122,603円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域の防犯意識が高められている。

#### (イ) 地域福祉に係る事業

##### 救命処置事業

事業概要	安心・安全なまちづくりを推進する。また、もしもの時に備え応急手当に関する講習参加の機会を作ることにより、住民一人一人が助け合いの心を共有し、思いやりのあるコミュニティをつくる。 心肺蘇生法とAEDの講習会の開催
事業費	15,995円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・多くの地域住民がAEDの重要性や必要性を認識し、確実に操作できるように、継続して実施してもらいたい。

#### (ウ) 環境に係る事業

##### キャンドルタイム推進事業

事業概要	環境にやさしいまちづくりを推進し、次世代を担う子供たちに豊かな自然を残すため、環境保護活動の取り組みを市民にPRする。 食廃油を利用したキャンドルの作成 太鼓フェスティバルにてキャンドルの装飾(環境保護の啓発)
事業費	99,950円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域のエコ意識の向上が図られている。

##### いこいの里山づくり事業

事業概要	県有林「新ひむかの森(前平森林公園)」を、田野の新しい市民の交流スポットとして市民自らが整備することで、自然に親しむ機会の拡大や喜びをわかち合い、新しい市民交流の癒しの場として確保する。 県有林「新ひむかの森(前平森林公園)」の整備
事業費	57,906円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・引き続き計画的に事業を進め、地域の名所となるような交流の場を整備してもらいたい。

(エ) 地域再生に係る事業

田野名所巡り事業

事業概要	田野町域の隠れた名所や旧跡を巡り、郷土愛の醸成と住民相互の交流イベントとして定着させ、併せて、田野町域の名所・旧跡マップづくりの基礎をかためる。 田野名所巡りウォークラリーの開催
事業費	114,513円
監査評価	適切な受益者負担が設定されている。
まちづくり評価	・名所や旧跡を知ることにより、郷土愛の醸成が図られている。

第29回田野マラソン大会共催事業

事業概要	町内外の子供から高齢者まで多数の参加者を誇る田野マラソン大会を、田野地区体育会との共催により開催し、地域間交流・世代間交流を図る。 田野マラソン大会の開催
事業費	66,445円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・スポーツを通して世代間、地域間の交流が図られている。

田野カロリンピック2010共催事業

事業概要	子供から高齢者まで無理なく競えるカロリングは最近人気の高いスポーツである。田野地区体育会・レクレーション協会との共催で開催する事により、幅広い世代間交流と地域間交流を行い、町の活性化を図る。 田野カロリンピック2010の開催
事業費	30,000円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・幅広い世代の交流や地域の交流が生まれることにより、地域の活性化につながっている。

(オ) その他の事業

まちづくり協議会だより発行事業

事業概要	まちづくり協議会の取り組み、行事等を広く地域住民に広報することにより、まちづくり協議会の認知と取り組みへの参加等を促す。 まちづくり協議会だよりの発行
事業費	179,233円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・地域住民に対し、まちづくり協議会とその活動内容の周知が図られているが、今後、さらに広報手段・内容等を検討して効果的に進めてもらいたい。

まちづくり協議会運営事業

事業概要	住民主体のまちづくり実現のため、役員会や各部会の会議開催や広報活動など、田野まちづくり協議会の円滑な運営を行う。 部会、役員会の開催 事務、会計事務全般 ほか
事業費	512,741円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・協議会の部会や役員会が効率的に進められている。



## イ 地域別評価

地域の一体感を維持しようとする事業に取り組むとともに、他の地域との交流も図ろうとしている。

中でも、「いこいの里山づくり事業」では、雲海を望むこともできるという『新ひむかの森』を整備し、新たな地域の魅力として内外にアピールしながら事業を進めていくことが期待される。

名所・旧跡が多いので、引き続き有効に活用しながら事業を進めてもらいたい。



いこいの里山づくり事業



防犯ネットワーク事業

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	11,479人
世帯数	4,695世帯
面積	108.30km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	田野小学校、七野小学校、田野中学校
事務所	田野総合支所（田野町甲2818番地）

## (18) 高岡町合併特例区(高岡まちづくり委員会)

### まちづくりの活動方針(テーマ)

ともに支え合い元気で、安全で、安心して暮らせるまち

郷土を誇りに思い、心豊かな人が育つ

### ア 事業別評価

#### (ア) 地域福祉に係る事業

##### 独居老人生きがい創設事業

事業概要	高齢者を対象に昔の映画の映写会を各地域で実施し、独居老人に生きがいや楽しみを持たせ、孤独死の解消を図る。また、映写会前後に健康体操や簡易の健康診断を行い、健康づくりを推進する。 映写会の実施
事業費	294,840円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・自治公民館で開催することで、高齢者が気兼ねなく参加できている。 ・これまで行事に参加していなかった高齢者の参加も多く見られている。

#### (イ) 環境に係る事業

##### EM拡大液製造機購入及び大淀川支流河川浄化推進事業

事業概要	EM(有用微生物群)団子を高岡町域の大淀川支流に投入し、河川の浄化を図る。また、河川環境の学習会等を開催し、大淀川の重要性、河川浄化の必要性を再認識させ、さらなる河川浄化や美しいふるさとづくりを推進する意識の高揚を図る。 環境学習会の開催 大淀川支流へのEM団子の投入
事業費	449,828円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・子どもから高齢者までが参加しやすいように、講習会等に工夫を凝らしている。 ・各家庭での河川浄化の取り組みなど、住民の意識改革が進んでいる。

#### (ウ) その他の事業

##### 高木兼寛生誕160年記念祭

事業概要	高岡町出身である「ビタミンの父高木兼寛」の生誕160年記念行事を開催し、同氏の偉業を顕彰すると共に、業績を再認識し郷土に誇りを持つ気持ちを育む。 記念講演会等の開催
事業費	319,719円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・各種団体との連携が図られている。 ・幅広く地域住民が参加できるように、講演会だけではなく、小学生の劇を取り入れるなどの工夫を凝らしている。

### 高岡まちづくり委員会事務局運営事業

事業概要	高岡まちづくり委員会の円滑な運営を行う。 会議の開催 各種運営事務 ほか
事業費	206,414円
監査評価	適切。
まちづくり評価	・まちづくり委員会の運営を円滑に進められている。

### イ 地域別評価

地域が広く一体的な取り組みが難しい中、「独居老人生きがい創設事業」では各自治公民館を回りながら映写会を行い、きめ細やかな対応を行っている。

初年度の課題をよくまとめていて、着実に事業を進められていることがわかる。次年度の改善が期待できる。



独居老人生きがい創設事業



高木兼寛生誕160年記念祭

参考：地域概要（平成22年1月1日現在）

人口	11,967人
世帯数	5,084世帯
面積	144.58km <sup>2</sup>
小中学校（公立）	高岡小学校、穆佐小学校、浦之名小学校、高岡中学校
事務所	高岡総合支所（高岡町内山2887番地）

## 4 総評

### (1) 住民主体のまちづくりについて

地域コミュニティ活動交付金が導入された初年度ながら、どの地域のまちづくりも前進している。16の地域自治区と清武町を除く3つの合併特例区で255もの事業に取り組んでいるが、ボランティアでこれだけ多くのことを行っていることを、まずは評価したい。

各地域ともまちづくりを進めるにあたって、アンケートなどで地域のニーズの把握に努めており、それぞれの事業には地域の特色がよく出ている。

地域の伝統文化や歴史に取り組んでいる地域は、自分の地域に誇りを持てるため、まちづくりに取り組む際の基盤が強いようである。

また、多くの事業の中で、特に効果的に進められているものに共通するのは、大塚台・生目台地域まちづくり推進委員会の「子どもまつり事業」のように、各種団体等との横の連携がうまく取れているという点である。お互いに重複する部分を解消し、良い部分を出し合うことで、それぞれの負担を軽減させながら、より効果的に事業を進めることができている。

### (2) 共通の課題について

共通の課題としてはまず、事業や取り組みについていかに住民に周知するかということがある。各地域とも広報活動では、見やすい広報誌の誌面づくりなどを工夫しながら進めている。広瀬北小学校区地域づくり協議会（佐土原町合併特例区）の「地域紹介・広報事業」のように、研修等で専門的な技術を学ぶことができれば、より効果的に広報活動を進めることができる。また、事業前の広報だけでなく、終了した事業の報告も積極的に広報し、各地域の進んだ取り組みを幅広く周知する必要がある。将来的には、メディアを通じての周知方法を考えていかれることを期待したい。

若い世代の参加が少ないことも課題のひとつである。各地域ともその課題を認識しており、住吉地域まちづくり推進委員会の「子育て支援事業・すみよし子育てフェスタ2009」のように、「子ども」や「子育て」といった事業を中心に、若い世代を積極的に取り込もうとしている。

まちづくりを進める中で、参加者が思うように集まらないという事業もあった。そのような場合でも、中央東まちづくり推進委員会が「生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業」で寄せ植え講座を同時開催することで参加者を増やしたように、参加しやすい

内容を加えるなどの工夫をすることで改善することができる。

どの地域も人材確保が最も重要という認識は共通であった。まちづくりに携わったことがない人には、まずは事業に興味を持ってもらい、参加してもらうことから始めたい。そのためにも、幅広く地域住民が参加できる取り組みを進めていってほしい。

### (3) 地域コミュニティ活動交付金の使途のルールについて

使途のルールが厳しいという声があり、そのために疲弊感が出ないかという懸念はある。しかし、制度が始まったばかりということもあり、最低限のルールは必要である。各地域においては工夫をしながら事業を進めてほしい。

また、全19地域のうち14地域が取り組んでいる防犯灯維持管理事業については、各地域とも「地域コミュニティ活動交付金を充てる上限割合を当該年度の各地域の交付配分額の30%以内とする」というルールに従って実施されている。

### (4) 今後のまちづくりについて

共通の課題にもあるように、今後、若い世代を取り込んでいくために、大塚地域まちづくり推進委員会の「親子手作りタコ上げ(凧揚げ)大会事業」のように、子どもを中心とした事業を通してその親を取り込んでいきたい。子どもを中心とした事業をより効果的に行うためには、学校と連携できる環境作りを進めることが必要である。その際には小学校単位など小さい単位のまちづくりにもどう取り組んでいくかを検討していかなければならない。

事業の種類を見ると、イベント系の事業が比較的多く見られるが、地域が疲弊しないように、的確に事業選定を行いながらまちづくりを進める必要がある。

全体として見ると、NPOなどの市民活動団体との連携が多くは見られない。宮崎市は市民活動が活発なので、連携を進めることにより、市民活動団体の専門性が生かされ、事業の充実が図られるとともに、若い世代の人材確保の点からも波及効果があるものと考えられる。そして、まちづくりに男女共同参画の視点を積極的に取り入れることで、活動がより活発になると考えられる。また、先進都市の活動の事例や財源確保の手段としてのコミュニティビジネスなどを研究してみるのもよい。

今後、さらにまちづくりを前進させるためには、試行錯誤をしながら様々な事業に取り組む思い切りも必要である。他の地域の良い事例も参考にしながら、積極的にまちづくりに取り組んでもほしい。

## 5 參考資料



## 宮崎市地域コミュニティ税評価委員会設置要綱

### (設置)

第1条 地域コミュニティ税を基にした交付金の使途の内容を市民に明らかにし、透明性の確保を図るため、地域コミュニティ税評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

### (検討事項)

第2条 委員会の検討事項は、次のとおりとする。

- (1) 宮崎市の地域コミュニティ税の使途の評価に関する事項を調査、審議すること。
- (2) 地域活動に関する意見交換、情報収集、情報提供を行うこと。
- (3) その他評価の適正化に関すること。

### (組織)

第3条 委員会には、別表に掲げる委員を置く。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年間とし、4月1日から翌々年の3月31日までとする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

### (委員会の運営)

第5条 委員会に会長を置き、委員の互選とする。

2 副会長は会長が指名するものとする。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

4 委員会は必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

5 委員会は公開する。ただし、会長が必要と認めるときは、委員会に諮り、公開しないことができる。

6 委員会は必要に応じて関係者を出席させることができる。

7 前各項に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、市長が別に定める。

### (報酬及び謝金)

第6条 委員が委員会等に出席したときは、報酬として1日につき4,000円を支給することができる。

2 関係者が委員会に出席したときは、謝金として1日につき2,000円を支給することができる。

### (庶務)

第7条 委員会の庶務は、市民部地域コミュニティ課において処理する。

### (補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、市長が別に定



める。

附 則  
この要綱は、平成 19 年 12 月 25 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 20 年 7 月 22 日から施行する。

附 則  
この要綱は、平成 21 年 8 月 14 日から施行する。

## 宮崎市地域コミュニティ税評価委員会名簿（8名）

（50音順）

役 職	氏 名	備 考
宮崎公立大学人文学部教授	ありま しんさく 有馬 晋作	学識経験者
南九州税理士会宮崎支部	くの ひろし 久野 浩史	税理士
SVCみやざき監事	しばぎき としゆき 芝崎 敏之	市民活動推進委員会委員
事業者 代表取締役会長	とりやま ひろし 鳥山 浩	江坂設備工業（株）
法政大学法学部教授	なわ た よしひこ 名和田 是彦	学識経験者
宮崎大学教育文化学部准教授	ねぎし ひろたか 根岸 裕孝	学識経験者
みやざき女男ネットワーク 会長	はまだ じゅんこ 浜田 潤子	NPO
宮崎市PTA協議会 会長	まつした ゆきお 松下 幸夫	PTA協議会